

DVH-P530

DVD-V/VCD/CD/USB/チューナー・
WMA/MP3/AAC/DivX 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



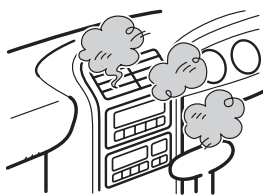
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

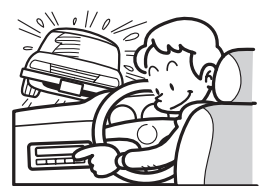
ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

はじめに

1	本書のみかた	10
2	本機の特徴	10
3	ご使用になる前に	13
4	本機で再生できるファイルについて	14
5	リモコンの準備	16
6	本機のリセットについて	17
7	フロントパネルの取り外しかた／ 取り付けかた	18
8	フロントパネルを固定する	19
9	サブウーファーの設定について	20
10	各部のなまえ	22

ここだけ読めばすぐ使えます

1	基本的な操作	26
	● 電源オン・オフ	
	● ソース切り換え	
	● 音量調節	
2	内蔵DVDのふだんの操作	28
	● ディスクをセットする	
	● ディスクを再生する	
	● タイトル・フォルダーを選ぶ	
	● チャプター・ファイル・ トラックを選ぶ	
	● 早送り・早戻し	
	● ディスクを取り出す	
3	ラジオのふだんの操作	30
	● バンドを選ぶ	
	● 選局	
4	USB機器のふだんの操作	31
	● USB機器の曲を再生する	
	● フォルダーを選ぶ	
	● 曲を選ぶ	
	● 早送り・早戻し	
5	iPodのふだんの操作	32
	● iPodの曲を再生する	
	● 曲を選ぶ	
	● 早送り・早戻し	
6	よく使う機能をボタンですぐに 操作する	33

内蔵 DVD

内蔵DVD

1	リモコンの基本操作	34
2	メニュー画面の操作	35
3	PBCメニュー画面の操作	35
4	DivX VOD ファイルを再生する	36
5	CMを飛ばして再生をする	36
6	お気に入りの場面を登録する	37
7	タイトル(トラック)を指定する	37
8	チャプター(トラック)を 直接指定する	38
9	コマ送り再生をする	38
10	スロー再生をする	39
11	再生中に音声言語を切り換える	39
12	再生中に字幕言語を切り換える	40
13	再生中にアングルを切り換える	40
14	指定された場面に戻る	41
15	オートプレイを設定する	41
16	タイトル名を見て再生したい タイトルを探す	42
17	曲名を見て聞きたい曲を探す	42
18	タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーを探す	43
19	ファンクションメニューの 切り換えかた	44
20	繰り返し再生する	46
21	音声の出力方法を切り換える	47
22	違う曲順で再生する	47
23	曲／フォルダーを探す	48
24	再生を一時停止する	49
25	10曲飛びに選曲する	49
26	音を聞きやすくする	50
27	再生モードの切り換え	50
28	CDのタイトルを入力する・ 表示する	51
29	情報画面／タイトル画面を表示する	52

C O N T E N T S

ラジオ

ラジオ

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ登録する | 54 |
| 2 | 登録した放送局を呼び出す | 54 |
| 3 | ファンクションメニューの
切り換えかた | 55 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に登録する | 55 |
| 5 | 放送局名を選ぶ | 56 |
| 6 | 放送局名を表示する | 56 |

USB

USB

- | | | |
|---|-------------------------------|----|
| 1 | 曲を直接選ぶ | 58 |
| 2 | タイトルを見て再生したい
ファイルやフォルダーを探す | 58 |
| 3 | ファンクションメニューの
切り換えかた | 59 |
| 4 | 繰り返し再生する | 60 |
| 5 | 違う曲順で再生する | 60 |
| 6 | 曲を探す | 61 |
| 7 | 再生を一時停止する | 62 |
| 8 | ソース情報画面／タイトル画面を
表示する | 62 |

iPod

iPod

- | | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | チャプターを選ぶ | 64 |
| 2 | 聞きたい曲を探す | 64 |
| 3 | リスト表示をアルファベットで
検索する | 65 |
| 4 | ファンクションメニューの
切り換えかた | 66 |
| 5 | 同じ曲やリストを繰り返し聞く
いつもと違う曲順で聞く | 67 |
| 6 | すべての曲をシャッフルしてから
再生する | 68 |
| 8 | アルバムリストに
ショートカットする | 68 |
| 9 | iPod から本機の iPod 機能を
操作する | 69 |
| 10 | 再生を一時停止する | 70 |
| 11 | オーディオブックの再生速度を
変更する | 70 |
| 12 | ソース情報画面／タイトル画面を
表示する | 71 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

すぐ使えます
ここだけ読めば

はじめに

内蔵DVD

ラジオ

USB

iPod

マルチCD (別売)

テレビ (別売)

DVD (別売)

音の調節

音の調節 (別売 DSP)

DVD 設定

初期設定

便利な機能

その他 (付録)

目次

マルチCD

マルチCD (別売)

- 1 マルチCDのふだんの操作 72
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 73
- 3 繰り返し再生する 74
- 4 違う曲順で再生する 74
- 5 曲やディスクを探す 75
- 6 再生を一時停止する 76
- 7 音を聞きやすくする 76
- 8 聞きたい曲を指定する 77
- 9 指定した曲だけ再生する 77
- 10 曲の指定を1曲ずつ解除する 78
- 11 曲の指定をCDごとに解除する 78
- 12 CDのタイトルを入力する 79
- 13 タイトルやアーティスト名を表示させる 80
- 14 タイトルを見て聞きたいCDを探す 80

テレビ

テレビ (別売)

- 1 テレビのふだんの操作 82
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 83

S-DVD

DVD (別売)

- 1 DVDのふだんの操作 84
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 84

音の調節

音の調節

- 1 オーディオ調節メニューの切り換えかた 86
- 2 前後左右の音量バランスを調節する 87
- 3 イコライザーカーブを選ぶ 87
- 4 イコライザーカーブを大まかに補正する 88
- 5 イコライザーカーブを細かく調節する 88
- 6 小さな音量でも聞きやすくする 89
- 7 サブウーファーを使う 90
- 8 サブウーファーのON/OFFと位相切り換え 90
- 9 サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 91
- 10 低い音を出力しないようにする 91
- 11 低い音を強調する 92
- 12 各ソースの音量をそろえる 92

目次

DVD 設定

DVD 設定

- 1 DVD 設定メニューの切り換えかた 116
- 2 基本字幕を設定する 117
- 3 基本音声を設定する 118
- 4 メニュー言語を設定する 118
- 5 アシスト字幕を設定する 119
- 6 マルチアングルマーク表示を設定する 119
- 7 画面の縦横比を設定する 120
- 8 視聴制限を設定する 121
- 9 DivX VOD の登録コードを確認する 122
- 10 DivX のカスタム字幕ファイルを表示する 123
- 11 デジタル出力の設定をする 123

初期設定

初期設定

- 1 初期設定メニューの切り換えかた 124
- 2 時計を合わせる 125
- 3 フロントパネルの外し忘れを警告する 125
- 4 外部機器 (AUX) をソースに設定する 126
- 5 映像入力を設定する 128
- 6 バックカメラ極性を設定する 129
- 7 リアスピーカー出力を設定する 130
- 8 RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ 130
- 9 スクロールの設定を切り換える 131
- 10 音の歪みを補正する 131
- 11 オーディオ設定をリセットする 132

便利な 機能

便利な機能

- 1 瞬時に音量を消す／小さくする 134
- 2 時計を表示する 134
- 3 よく使う機能を直接操作する 135
- 4 交通情報を受信する 135
- 5 外部機器の名称を入力する 136
- 6 ナビゲーションの音声を本機で再生する 136
- 7 エクスターナルユニットを使う 137

その他

その他 (付録)

- 1 再生できるディスクについて 138
- 2 再生可能な圧縮ファイルについて 140
- 3 ディスク上の圧縮ファイルについて 143
- 4 USB 機器について 144
- 5 iPod について 145
- 6 使用上の注意 146
- 7 言語コード表 147
- 8 故障かな?と思ったら 148
- 9 こんなメッセージが表示されたら 152
- 10 保証書とアフターサービス 155
- 11 用語解説 156
- 12 おもな仕様 160

はじめに

1

本書のみかた

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。内蔵DVDやラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外のリモコンや便利な機能については、「内蔵DVD」や「USB」、「音の調節」など、それぞれの項目をお読みください。

リモコンでの操作

このマークのある項目ではリモコンでの操作を説明しています。「DVD」、「DVH」はリモコンで設定する操作モードを示しています。

(※^① はじめに ⑤ 16 ページ)

はじめに

2

本機の特徴

DVD ビデオ再生対応

本機はDVDビデオの再生に対応しています。市販のDVDビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で録画されたDVD-R/RWの再生にも対応しています。

ビデオ CD の PBC 対応

PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDの再生に対応しています。

CD 再生対応

音楽CDの再生に対応しています。また音楽CDのデータが記録されたCD-R/RWの再生に対応しています。

CD TEXT 再生対応

CD TEXTの再生に対応しています。



CD TEXT とは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDはCD TEXTディスクです。下記マークの付いていないCD TEXTディスクもあります。



WMA / MP3 / AAC ファイル再生対応

WMA / MP3 / AACファイルが記録されたCD-R / RW / ROM、DVD-R / RW / ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※^① その他 ⑩ 158 ページ)

DivX® ファイル再生対応

DivX ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD-R/RW/ROMの再生に対応しています。

ドルビーデジタル対応

当社の5.1 ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 対応

当社の5.1 ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- 米国特許 5451942号、または、米国およびその他の国での登録済み特許または特許申請中の実施権に基づき製造されています。「DTS」、「DTS Digital Out」およびDTSロゴは、DTS, Inc. の登録商標です。© 1996 – 2007 DTS, Inc. 不許複製。

Bluetooth アダプター対応

パイオニア製Bluetoothアダプター（「CD-BTB10」など）の接続に対応しています。Bluetoothアダプターを使って、携帯電話やポータブルオーディオ機器の操作に対応しています。

50 枚型マルチ CD プレーヤーの使用について

本機では、50 枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50 枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、ディスクリストには切り換わりません。

USB 機器コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにUSB機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、USB インターフェース付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。対応するUSB機器については (P. 144) **その他 ④ 144 ページ**

- 本機は、USB ポータブルオーディオプレーヤーやUSB Mass Storage Class対応のUSB メモリーに収録されているWMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できます。対応する圧縮ファイルについては (P. 140) **その他 ② 140 ページ**

次のページへ続く

iPod コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、iPod を本機のUSB インターフェースに接続して操作できます。

- 本機は以下のiPodに対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

- 第5世代 iPod : Ver. 1.2.1
- 第1世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
- 第2世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
- 第3世代 iPod nano : Ver. 1.0.2
- iPod classic : Ver. 1.0.2
- iPod touch : Ver. 1.1.1

- 操作方法は、iPodソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPodを接続するには、iPod用USB変換ケーブル（例：「CD-IU50」）が必要です。
- 先述したモデル以前のiPodは、当社のiPodアダプター（例：「CD-IB10II」）と組み合わせると、本機から操作できます。ただし、iPodはDockコネクタを備えている必要があります。
- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



メモ

- iPod接続時のご注意やiPodの設定については
(※) その他 ⑩ 145ページ
- iPodのビデオは、操作できません。

ご使用になる前に

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは（※**ラジオ ① 54 ページ**）、時計調節は（※**初期設定 ② 125 ページ**）を参照して、再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

著作権について

本機は、マクロピジョンコーポレーションおよび他の権利所有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロピジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

別売のモニターを接続したとき

本機に別売のモニターを接続すると、DVD ビデオなどの映像のほか、操作に関する画面を表示できます。表示や操作の方法は、それぞれのページを参照してください。

情報画面

内蔵 DVD を操作しているとき、表示できません。（※**内蔵 DVD ⑤ 52 ページ**）

ソース情報画面

内蔵 DVD 以外を操作しているとき、「情報画面」の代わりに表示します。

ラジオ、TI（交通情報）、マルチ CD、TV、iPod、USB、AV、Bluetooth、AUX1/2、EXT1/2

タイトル画面

以下のソースのとき、表示できます。

内蔵 DVD：（※**内蔵 DVD ⑤ 52 ページ**）

USB：（※**USB ⑥ 62 ページ**）

iPod：（※**iPod ⑫ 71 ページ**）

リスト画面

以下のソースのとき、表示できます。

内蔵 DVD：（※**内蔵 DVD ⑬ ⑭ 42 ページ、⑮ 43 ページ**）

USB：（※**USB ② 58 ページ**）

iPod：（※**iPod ② 64 ページ、③ 65 ページ、④ 68 ページ**）

別売の DSP 設定画面

本機に別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときに表示できます。（※**別売 DSP ① 94 ページ**）



メモ

- ラジオのときは、ソース情報画面とプリセットチャンネルリストが常に表示されます。
- タイトル画面やリスト画面の文字表示は、ひらがなや漢字などに対応しています。
- タイトル画面やリスト画面の文字表示は、スクロールしません。



ソースとは

- SOURCE ボタンを押すごとに切り換わる、内蔵 DVD やラジオなどの音源のことです。（※**ここだけで ① 26 ページ**）

WMA について



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

- Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

 メモ

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

MP3 について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子放送番組の配付システムなど。

 メモ

- MP3 ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

AACについて

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、（.m4a）以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲（.m4p）は、DVD-R/RW、CD-R/RWに記録して再生することはできません。

DivX®について



DivX®は、DivX, Inc. が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified製品は、DivXのクリエータによってテストされ、全てのバージョンのDivX（DivX 6も含む）でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示しています。

- DivX® Certified製品
- 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生（DivX® 6も含む全てのバージョンに対応）
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。

本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RWに記録されたDivX®ファイルを再生できます。

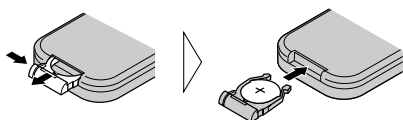
この取扱説明書では、それぞれのDivX®ファイルをDVDに合わせて「タイトル」と呼びます。DivX®ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。

初めてお使いになるときは、電池ホルダーから出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

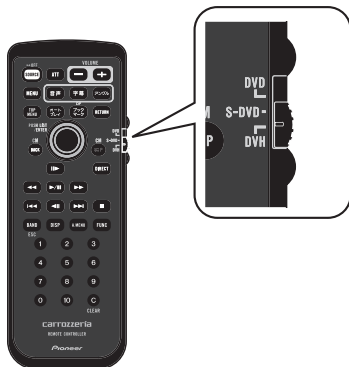


リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起きたときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、S-DVDモード、DVHモードの3つの操作モードがあります。



DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- 内蔵DVDを操作するとき。
- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するとき。
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき。
- DVDのタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき。

S-DVDモード：

ソースDVD（1枚型DVD／マルチDVD）を操作するときに使います。操作方法はDVDモードと同様です。

DVHモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。



ご注意

- DVD／S-DVDモードのときは、**[DIRECT]** ボタンは使えません。
- DVHモードのときは、**[RECALL]** ボタン、**[10]** ボタンは使えません。

**別売のナビゲーションユニットを組み合わせた場合**

- 本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションユニット（例：「AVIC-DR001」）は操作できません。ナビゲーションユニットは本体ボタン、またはナビゲーションユニットに付属のリモコンで操作してください。

本機を初期設定状態に戻すことができます。リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わったあと。
 - 本機が正しく動作しないとき。
 - ディスプレイが正しく表示されないとき。
- リセットボタンを押すと、本機の登録内容（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

**ご注意**

- フロントパネルが固定されている場合は、フロントパネル固定用板金とネジを外してから、フロントパネルを取り外してください。フロントパネル固定用板金とネジは、「フロントパネルを固定する（※はじめに ④ 19 ページ）」の逆の手順で取り外してください。

1

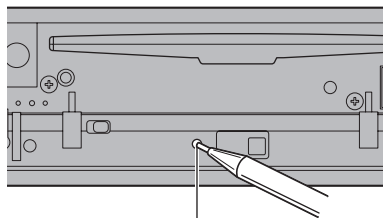
フロントパネルを取り外す

（※はじめに ⑦ 18 ページ）

2

本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外すことができます。(デタッチャブル機構)

フロントパネルの取り外しかた



フロントパネルの取り扱い上のご注意

- フロントパネルが固定されている場合は、フロントパネル固定用板金とネジを外してから、フロントパネルを取り外してください。フロントパネル固定用板金とネジは、「フロントパネルを固定する(※はじめに⑧)」の逆の手順で取り外してください。

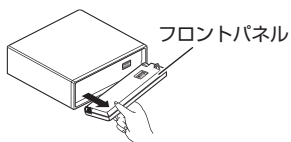
1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを取り外す

フロントパネルの左側を持って、フロントパネルを取り外す



3 フロントパネルを保管する

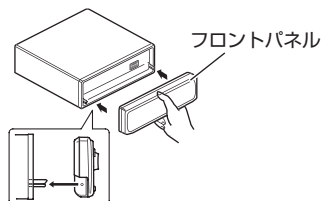
付属のフロントパネル保護ケース(フェイスパネルケース)にフロントパネルを入れる

フロントパネルの取り付けかた



1 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルの下部を本体の取り付けフックに合わせて取り付ける



フロントパネルの取り扱い上のご注意

- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- フロントパネルの端子部分に異物が接触しないようにしてください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合に、フロントパネルおよび本体の端子部を触らないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。

フロントパネルを固定する

フロントパネルは、付属のフロントパネル固定用板金とネジで固定することができます。

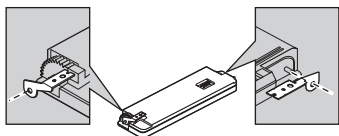


ご注意

- フロントパネルを固定すると、リセットボタンが押せなくなります。(※はじめに④ 17ページ) リセットボタンを押すときは、この説明と逆の手順でフロントパネルを取り外してください。

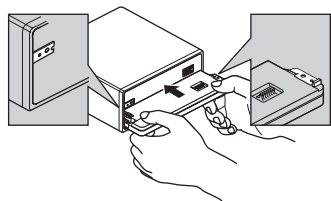
1 フロントパネル固定用板金をフロントパネルに取り付ける

フロントパネルの両サイドにフロントパネル固定用板金をはめ込む



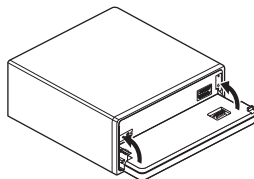
2 フロントパネルを本体に取り付ける

フロントパネル固定用板金をおさえながら、フロントパネルを本体に取り付ける



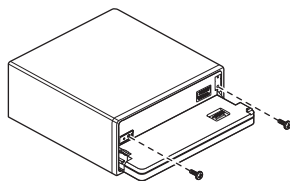
3 フロントパネル固定用板金を起こす

フロントパネル固定用板金を起こして、本体に合わせます。



4 フロントパネルを本体に固定する

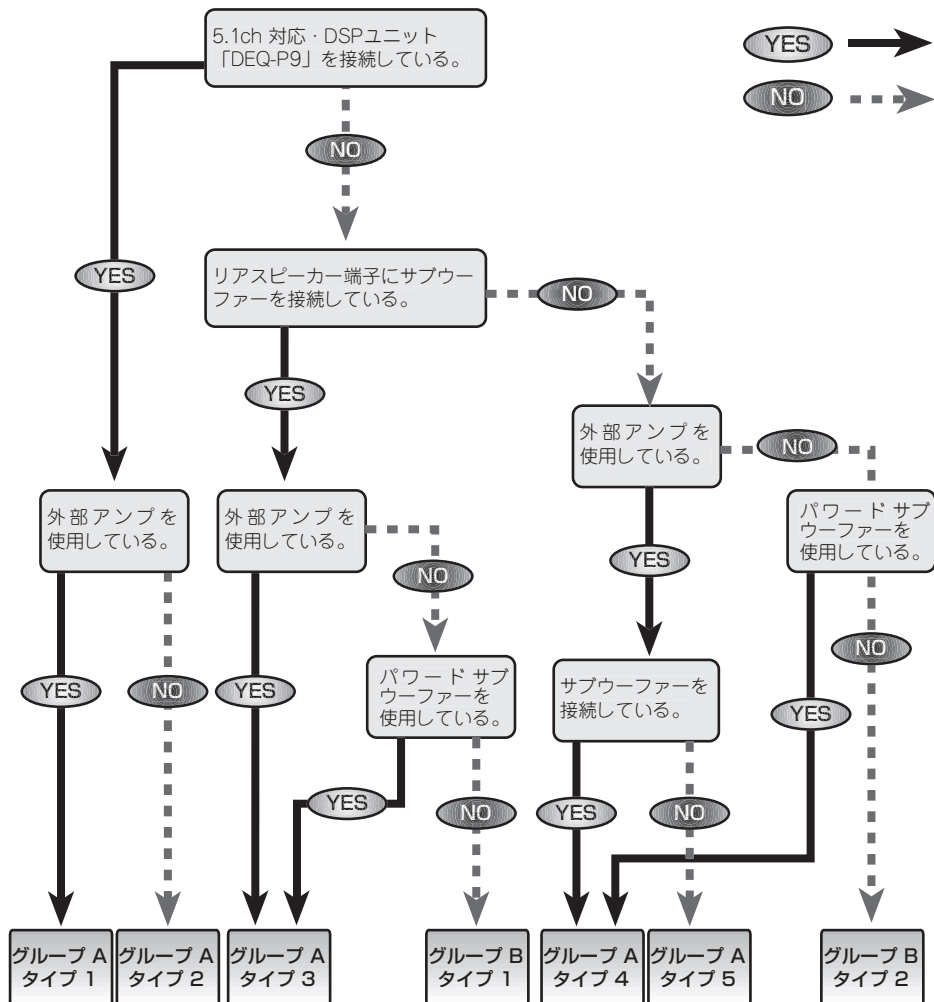
フロントパネル固定用ネジで、フロントパネル固定用板金を本体に取り付ける



サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができません。

サブウーファーの接続方法やシステムによって、サブウーファーの設定方法は大きく異なります。次の表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。



グループ A



ご注意

- 入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

タイプ 1

1. リスニングポジションをFRONT-LまたはFRONT-Rに設定する
(別売 **DSP ④ 97 ページ**)
2. スピーカー設定モードで、スピーカーの有無を設定する (サブウーファーはONに設定)
(別売 **DSP ⑫ 107 ページ**)
3. オート TA & EQを行う
(別売 **DSP ⑭ 105 ページ**)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う

タイプ 2

1. リスニングポジションをFRONT-LまたはFRONT-Rに設定する
(別売 **DSP ④ 97 ページ**)
2. スピーカー設定モードで、スピーカーの有無を設定する (サブウーファーはOFFに設定)
(別売 **DSP ⑫ 107 ページ**)
3. オート TA & EQを行う
(別売 **DSP ⑭ 105 ページ**)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う

タイプ 3

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :SUB Wにする
(初期設定 **⑦ 130 ページ**)
2. オーディオ調節メニューで、SUB W1をONにする
(音の調節 **⑧ 90 ページ**)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(音の調節 **① 86 ページ**)

タイプ 4

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(初期設定 **⑦ 130 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をPREOUT :SUB Wにする
(初期設定 **⑧ 130 ページ**)
3. オーディオ調節メニューで、SUB W1をONにする
(音の調節 **⑧ 90 ページ**)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(音の調節 **① 86 ページ**)

タイプ 5

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(初期設定 **⑦ 130 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をPREOUT :REARにする
(初期設定 **⑧ 130 ページ**)

グループ B

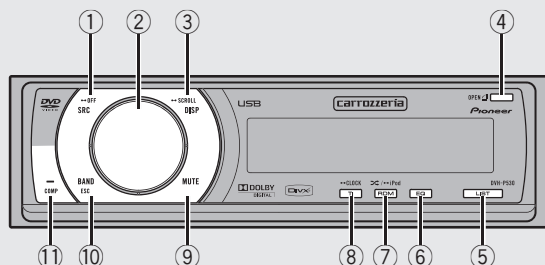
タイプ 1

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :SUB Wにする
(初期設定 **⑦ 130 ページ**)
2. オーディオ調節メニューで、SUB W1をONにする
(音の調節 **⑧ 90 ページ**)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(音の調節 **① 86 ページ**)

タイプ 2

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を REAR SP :FULLにする
(初期設定 **⑦ 130 ページ**)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定をPREOUT :REARにする
(初期設定 **⑧ 130 ページ**)

本体



① SOURCE ボタン

② ロータリーコマンダー

③ DISPLAY ボタン

④ OPEN ボタン

⑤ LIST ボタン

● ラジオのときは、使用できません。

⑥ EQ ボタン

⑦ RDM ボタン

⑧ TI ボタン

⑨ MUTE ボタン

● 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときは、使用できません。

⑩ BAND ボタン

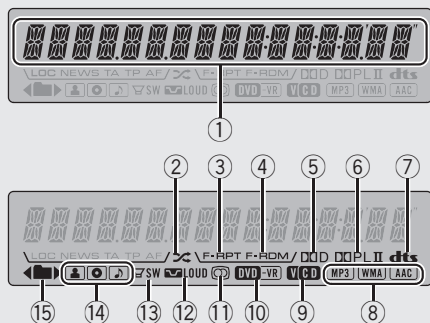
⑪ COMP ボタン



ロータリーコマンダーとは

● 「回す」・「中心を押す」・「上、下、左、右に操作する」の3つの操作を行うことで、本機のさまざまな機能を使うことができます。

ディスプレイ



① メイン表示部

チャプター番号や再生経過時間など、再生中のディスクの情報（内蔵DVD）、バンドと周波数（ラジオ）、各種設定内容などを表示します。

② ㄥ（シャッフル）インジケータ

iPodのシャッフル機能がONのときに点灯します。

③ F-RPT インジケータ

フォルダーリピート再生中に点灯します。リピート再生中は、RPTだけが点灯します。

④ F-RDM インジケータ

フォルダーランダム再生中に点灯します。ランダム再生中は、RDMだけが点灯します。

⑤ ㊦ D インジケータ

ドルビーデジタル音声を選択しているときに点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続した場合）

⑥ ㊦ PL II インジケータ

ドルビープロロジックIIの機能を使用しているときに点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続した場合）

⑦ dts インジケータ

DTS音声を選択しているときに点灯します。（別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続した場合）

⑧ WMA / MP3 / AAC インジケータ

WMA / MP3 / AACファイルを再生中に、ファイル形式に対応したインジケータが点灯します。

⑨ VCD インジケータ

ビデオCDの再生中に点灯します。CDの再生中は、CDだけが点灯します。

⑩ DVD-VR インジケータ

DVD-VRの再生中に点灯します。DVDビデオの再生中は、DVDだけが点灯します。

⑪ ステレオインジケータ

ステレオ放送の受信中に点灯します。（ラジオ） は、音声多重放送の受信中に点灯します。（別売のテレビを接続した場合）

⑫ LOUD インジケータ

ラウドネスがONのときに点灯します。

⑬ SW インジケータ

サブウーファーがONのときに点灯します。

⑭ アーティスト / トラックタイトル / ディスクタイトルインジケータ

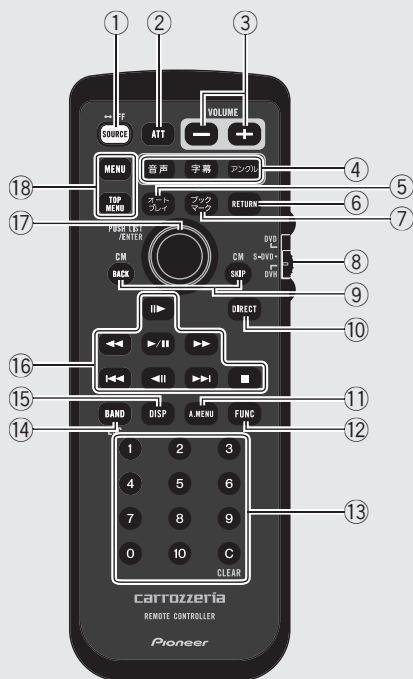
本機のディスプレイに、表示されている文字情報に対応したインジケータが点灯します。

⑮ リスト表示インジケータ

リスト機能の操作中に点灯します。フォルダーやメニューに、上や下の階層がある場合、◀や▶が点灯します。

リモコン

本体と同じなまへのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。



- ① (SOURCE) ボタン
- ② (ATT) ボタン
(便利な機能 ① 134 ページ)
- ③ (VOLUME) ボタン
(ここだけで ① 27 ページ)
- ④ (音声) ボタン
 (字幕) ボタン
 (アングル) ボタン
- ⑤ (オートプレイ) ボタン
(内蔵 DVD ⑩ 41 ページ)
- ⑥ (RETURN) ボタン
- ⑦ (ブックマーク) ボタン
(内蔵 DVD ⑥ 37 ページ)
- ⑧ 操作モード切り換えスイッチ
(はじめに ⑤ 16 ページ)
- ⑨ / (CM BACK / CM SKIP) ボタン
- ⑩ (DIRECT) ボタン
- ⑪ (A.MENU) ボタン
- ⑫ (FUNCTION) ボタン
- ⑬ ① ~ ⑩ (数字) ボタン
④ (CLEAR) ボタン
- ⑭ (BAND) ボタン
- ⑮ (DISPLAY) ボタン
- ⑯ (再生 / 一時停止) ボタン
 / (早戻し / 早送り) ボタン
 / (スキップ) ボタン
 / (コマ送り) ボタン
 (停止) ボタン
- ⑰ ジョイスティック
- ⑱ (MENU) ボタン
 (TOP MENU) ボタン



操作モードによって機能が異なるボタン

(ブックマーク) ボタン

DVHモードのときは、ソースごとにあらかじめ登録されている機能（ポーズやBSMなど）を直接操作できます。

(便利な機能 ⑥ 135 ページ)

① ~ ⑩ (数字) ボタン

DVHモードのとき：
ラジオのプリセットチューニングやマルチCDのディスク選択などが操作できます。
DVD / S-DVDモードのとき：
ビデオCDのメニューを選ぶことができます。

(BAND) ボタン

DVHモードのとき：
本体のBANDボタンと同様の操作ができます。
DVD / S-DVDモードのとき：
WMA / MP3 / AACファイルおよび音楽データとDivXファイルが混在しているディスクを切り換えることができます。

ジョイスティックの上下左右の操作

DVHモードのとき：
本体のロータリーコマンドと同様の操作ができます。
DVD / S-DVDモードのとき：
DVDメニューの項目を選択できます。

ジョイスティックの中心を押す

DVHモードのとき：
内蔵DVD、iPod、USBのリスト画面を表示します。(別売のモニターを接続したとき)
DVD / S-DVDモードのとき：
DVDメニューの項目を決定できます。



ご注意

- DVD / S-DVDモードのときは、 (DIRECT) ボタンは使えません。
- DVHモードのときは、 (停止) ボタン、⑩ (10) ボタンは使えません。

ここでだけ

1

基本的な操作

1 電源を ON にする

SOURCE ボタンを押す

本機の電源がONになります。

2 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

SOURCE ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。

TUNER (ラジオ・FM/AM)



TELEVISION (テレビ) (別売)



AV (AV) (別売)



DVD (内蔵DVD)



S-DVD (1枚型/マルチDVD) (別売)



MULTI CD (マルチCD) (別売)



IPOD (iPod) (別売)



USB (USB)



EXTERNAL (エクスターナルユニット1)
(別売)



EXTERNAL (エクスターナルユニット2)
(別売)



AUX1 (外部機器 1) (別売)



AUX2 (外部機器 2) (別売)



BLUETOOTH (Bluetooth) (別売)



TUNER に戻る

3 音量を調節する

ロータリーコマンドーを回す

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

4秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

SOURCE ボタンを長く押す

本機の電源が切れます。



ソースとは

- SOURCE ボタンを押すと切り換わる、内蔵 DVD やラジオなどの音源のことです。



EXTERNAL (エクスターナルユニット) とは

- 本機にソースとして認識されないパイオニア製品 (将来発売される製品など) を、エクスターナルユニットと呼びます。本機は、エクスターナルユニットを計2台まで接続してコントロールできます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、それぞれのユニットは EXTERNAL 1、EXTERNAL 2 ソースとして自動的に認識されます。表示は、どちらを選んだ場合も「EXTERNAL」になります。



知っている则便利

- リモコンの **(+)** / **(-)** ボタンを押して、音量を調節することもできます。



メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調節範囲は、0~62 です。
- ディスクをディスク挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (※ 初期設定 4 126 ページ) を OFF にしていると、AUX 1 / AUX 2 には切り換わりません。
- AUX 1 は初期設定では「AUDIO」に設定されています。使用しない場合は「OFF」に設定してください。(※ 初期設定 4 126 ページ)
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

テレビ、マルチ DVD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

テレビ (例: 「AVX-P7」) やマルチ DVD (例: 「XDV-P70」) などの取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作します。

Bluetooth アダプターを接続したときは

操作のしかたは、組み合わせた Bluetooth アダプター (例: 「CD-BTB10」) の取扱説明書をご覧ください。(本機は「メインユニット 2」に相当します。)



メモ

- 電話を切ったときは、前のソースに切り換わります。
- 電話がかかってきたときは、BAND ボタンを押しても TEL と BT AUDIO を切り換えることはできません。

すぐ使えます
ここだけ読めば

ここだけで

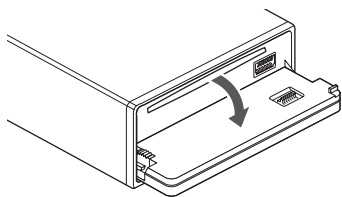
2

内蔵 DVD のふだんの操作

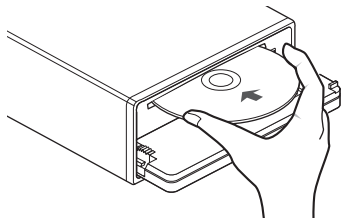
ディスクをセットする / ディスクを再生する / タイトル・

1 ディスクをセットする

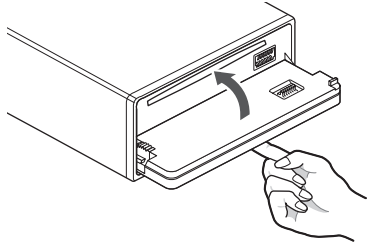
OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



ディスクをディスク挿入口に差し込む



フロントパネルを閉める



2 タイトル / フォルダー を選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

次のタイトル / フォルダーを選ぶとき：
上に操作する

前のタイトル / フォルダーを選ぶとき：
下に操作する

● DVD、WMA / MP3 / AAC、DivX 再生中に、操作できません。

3 チャプター / ファイル / トラックを選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

次のチャプター / ファイル / トラックを選ぶとき：右に操作する

前のチャプター / ファイル / トラックを選ぶとき：左に操作する

4 早送り / 早戻しする

ロータリーコマンドを左右に操作し続ける

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

● DVD、ビデオ CD、DivX ファイル再生中に、5 秒以上操作し続けると、ロータリーコマンドから手を離しても、早送り / 早戻しを続けます。見たい場所で、リモコンの ボタンを押すと、その場所から再生されます。

ご注意

● DVD やビデオ CD によっては、早送り / 早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常再生に切り換わります。

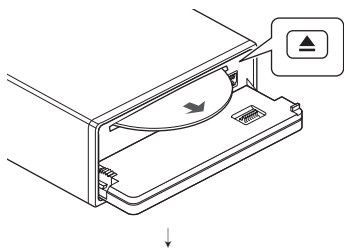
5 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

SOURCE ボタンを押す（または長く押し）

6 ディスクを取り出す

フロントパネルを開けてから（※手順1）、▲ボタンを押す

ディスクが出てきて、自動的に電源OFFになります。



フロントパネルを閉める（※手順1）

🔔 ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- CDシングル（8 cm CD）もアダプターなしで再生できます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。ディスク挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- ディスク挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、フロントパネルは閉めてください。



知っている则便利

- メニュー付きのDVDでは、メニュー画面が表示されます。この場合は、リモコンのジョイスティック（DVDモード）で再生を開始してください。（※内蔵DVD②35ページ）
- PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。（本機のディスプレイには、「PBC」と表示されます。）この場合、リモコンの⑨～⑩ボタンで再生を開始してください。（※内蔵DVD③35ページ）
- 本機では、PBCを解除できません。
- WMA／MP3／AACファイル、DivXファイル再生時は、BANDボタンを長く押しと、フォルダー01（ROOT）に戻ります。ただし、フォルダー01（ROOT）にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- WMA／MP3／AACファイル、音楽CDのデータ（CD-DA）、およびDivXファイルが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるには、BANDボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭のファイルから始まります。
- 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲されます。（※内蔵DVD④49ページ）
- リモコン（DVHモード）のジョイスティックを上下左右に操作することで、ロータリーコマンドと同様の操作ができます。



メモ

- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- 電源がOFFのときでも、▲ボタンを押してディスクを取り出すことができます。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- ブックマーク機能でお気に入りの場面を登録している場合、その場面から再生を開始します。（※内蔵DVD⑥37ページ）
- オートプレイをONに設定している場合、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始します。（※内蔵DVD⑬41ページ）
- WMA／MP3／AACファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR（可変ビットレート）で録音されたWMA／MP3／AACファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ここでだけ ラジオのふだんの操作

3

バンドを選ぶ/選局

1 ソースをラジオにする

ソースがラジオになるまで
SOURCE ボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1
↓
FM2
↓
AM1
↓
AM2
↓
FM1に戻る

3 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドナーを左右に操作する

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ：
右に操作する

低い周波数の放送局を選ぶ：
左に操作する

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ：
右に長く操作して離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ：
左に長く操作して離す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

SOURCE ボタンを押す (または長く押す)



知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ロータリーコマンドナーを左右に操作している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。
- 本機には、あらかじめ放送局名が登録されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(※ ラジオ ⑤ 56 ページ)
- リモコン (DVH モード) のジョイスティックを上下左右に操作することで、ロータリーコマンドナーと同様の操作ができます。

1 USB 機器の曲を再生する

USB 機器を接続する

再生が始まります。

2 フォルダーを選ぶ

ロータリーコマンドーを上下に操作する

次のフォルダーを選ぶ：上に操作する

前のフォルダーを選ぶ：下に操作する

3 ファイルを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

次のファイルを選ぶとき：右に操作する

前のファイルを選ぶとき：左に操作する

4 早送り / 早戻しする

ロータリーコマンドーを左右に操作し続ける

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

5 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

SOURCE ボタンを押す（または長く押す）



ご注意

- 対応する USB 機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります。(※ **その他 ④ 144 ページ**)
- 本機は、USB ポータブルオーディオプレーヤー / USB メモリーが接続されると、USB ソースに自動で切り換わります。これらの機器を使用しないときは、本機から取り外してください。接続する機器によっては、接続したままエンジンを ON にした場合、意図せずに USB ソースに自動で切り換わってしまうことがあります。



知っているると便利

- USB 機器を接続したまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- BAND ボタンを長く押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



メモ

- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB ソースでは、接続した USB 機器の情報を読みとる間、「FORMAT READ」と表示されます。USB 機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

ここだけで **5** iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する / 曲を選ぶ / 早送り・早戻し

iPod Dock コネクタ (USB 2.0 ケーブル用) を使用して iPod を本機に接続すると、iPod を本機から『USB』ソースとして操作できます。対応している iPod について詳しくは (※ はじめに ② 12 ページ)



メモ

- iPod アダプター (例: 「CD-IB10II」) と組み合わせて iPod を接続している場合は、『iPod』ソースになります。

1

iPod の曲を再生する

■ USB で接続するとき

iPod を接続すると再生が始まります。

■ iPod アダプターで接続するとき

iPod を接続して、ソースが iPod になるまで SOURCE ボタンを押す。

2

曲を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

次の曲を選ぶとき: 右に操作する

前の曲を選ぶとき: 左に操作する

3

早送り / 早戻しする

ロータリーコマンドを左右に操作し続ける

早送り: 右に操作し続ける

早戻し: 左に操作し続ける

4

他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

SOURCE ボタンを押す (または長く押す)



ご注意

- iPod アダプターで接続している場合、Podcast やオーディオブックに関する機能は操作できません。
- 再生範囲が1曲リピートのときは、ロータリーコマンドを左右に操作して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- iPod を本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。



メモ

- 再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、ロータリーコマンドを左右に操作して、チャプターを選べます。
 - ・次のチャプターを選ぶ: 右に操作する
 - ・前のチャプターを選ぶ: 左に操作する
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を ON / OFF することはできません。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。ただし、「操作設定」を「iPOD」にしている場合、iPod を OFF にするには、iPod を操作してください。(※ iPod ⑨ 69 ページ)
- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については (※ その他 ⑤ 145 ページ)

DISPLAY ボタン

- 押すごとに、ディスプレイの表示を切り換えます。
- 長く押すことで、ディスプレイのタイトル表示をスクロールします。

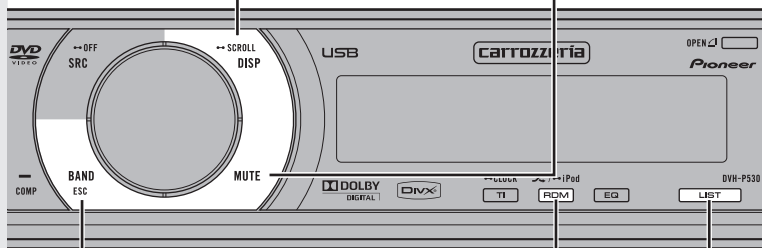
MUTE ボタン

- 押すと、音声がミュート（消音）されます。もう一度押すと、ミュートが解除されます。



メモ

- 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときは、使用できません。



BAND ボタン

- ファンクションメニューやオーディオメニューなどの表示中に押すと、ふだんの再生画面に戻ります。（初期設定メニュー表示中に押すと、電源がOFFになります。）
- ラジオ、テレビのときに押すと、バンドが切り換わります。

RDM ボタン

- 内蔵DVD、マルチCD、USB、S-DVDのときに押すと、「ランダムプレイ」のON/OFFを切り換えます。
 (☞ 内蔵DVD ② 47ページ、USB ⑤ 60ページ、マルチCD ④ 74ページ、S-DVD ② 85ページ)
- iPodをUSB接続しているときに押すと、「シャッフルオール設定」がONになります。(☞ iPod ⑦ 68ページ)
- iPodをUSB接続しているときに長く押すと、「操作設定」を切り換えます。(☞ iPod ⑨ 69ページ)
- iPodをiPodアダプターで接続しているときに押すと、「シャッフル設定」の設定を切り換えます。(☞ iPod ⑥ 67ページ)

LIST ボタン

- 内蔵DVD、マルチCD、USBのときに押すと、トラック、ディスク、フォルダー／ファイルリストを表示します。
 (☞ 内蔵DVD ⑬ 17 42ページ、⑬ 43ページ、USB ② 58ページ)
- iPodをiPodアダプターで接続しているときに押すと、ブラウズモードになります。(☞ iPod ② 64ページ)
- iPodをUSB接続しているときに長く押すと、再生中のアーティストのアルバムリストを表示します。
 (☞ iPod ⑧ 68ページ)



メモ

- リスト表示中にLISTボタンを押すと、ふだんの再生画面に戻ります。ただし、iPodをUSB接続しているときに押すと、アルバム検索モードになります。(☞ iPod ③ 65ページ)
- ラジオのときは、使用できません。

リモコンの基本操作

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

再生を一時停止する

1 再生を一時停止する

再生中に、**⏸** ボタンを押す

⏸ (一時停止マーク) が表示され、映像が一時停止します。

再生するには、もう一度 **⏸** ボタンを押します。



メモ

- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⏸** (禁止マーク) が表示され、一時停止できないことがあります。

再生を止める

1 再生を停止する

⏹ ボタンを押す

■ (停止マーク) が表示され、ディスク再生が停止します。

再生するには、**⏹** ボタンを押します。



メモ

- 再生は、停止した場所から再開されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。
- リモコン (DVHモード) では、操作できません。

次のチャプター (トラック) へ進む

1 チャプター (トラック) を進める

再生中に **⏩** ボタンを押す

チャプターナンバー (トラックナンバー) が約8秒間表示され、次のチャプター (トラック) に進みます。

前のチャプター (トラック) へ戻る

1 チャプター (トラック) を戻す

再生中に **⏪** ボタンを押す

チャプターナンバー (トラックナンバー) が約8秒間表示され、再生中のチャプター (トラック) の先頭に戻ります。



メモ

- 連続して二度操作すると、1つ前のチャプター (トラック) の初めに戻ります。

早送り / 早戻しする

1 ディスクを早送り / 早戻しする

再生中に **⏩** または **⏪** ボタンを押し続ける

押し続けている間、**⏪** (早戻しマーク) や **⏩** (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送り / 早戻しされます。

2 見たい場面を再生する

ボタンから手を離す



メモ

- DVDやDivX、ビデオCD再生中に **⏪** / **⏩** ボタンを5秒以上押すと、**⏪** (早戻しマーク) / **⏩** (早送りマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り / 早戻しが継続されます。見たい場所で **⏸** ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送り / 早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

メニュー画面の操作

リモコンでの操作 **DVD**

DVDビデオの機能です。

リモコンを使ってメニュー画面でメニューを選べます。



メニュー画面を表示するには

- 再生中に、**(MENU)** ボタンまたは**(TOP/MENU)** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場から再生することができます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1 メニューを選ぶ

ジョイスティックを上下左右に操作する

2 選んだメニューを再生する

ジョイスティックを押す



メモ

- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

PBCメニュー画面の操作

リモコンでの操作 **DVD**

ビデオCDの機能です。

PBC（プレイバックコントロール）機能付きビデオCDを再生すると、メニュー画面が表示されます。



PBCメニュー画面を表示するには

- PBC再生中に、**(RETURN)** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1 メニューを選ぶ

①～⑩ ボタンを押す

選んだメニューから再生されます。

3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、⑩、①と押します。

23を選ぶには、⑩、⑩、③の順に押します。



メモ

- ジョイスティックでは操作できません。
- メニュー画面が2ページ以上あるときは、**(◀)** / **(▶)** ボタンを押して表示を切り換えます。

内蔵DVD

4

DivX VOD ファイルを再生する

リモコンでの操作 **DVD**

DivX の機能です。

DivX VOD ファイルを再生することができます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video OnDemand」の略です。DivX VOD ファイルを再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。DVD の設定で本機の登録コードを確認できます。(※ DVD 設定 ⑨ 122 ページ)



ご注意

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていない DivX VOD ファイルを再生すると、「AUTHORIZATION ERROR」が表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると、「RENTAL EXPIRED」が表示され、再生できません。



DivX VOD ファイルを再生する

視聴回数画面を表示中に、**⏮** ボタンを押す



メモ

- DivX VOD ファイルを再生したくない場合は、**⏮** を押します。
- 再生する DivX VOD ファイルを選ぶには、**⏮** / **⏭** を押します。

内蔵DVD

5

CM を飛ばして再生する

CM スキップ / CM バック

リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

DVD の機能です。

再生中の映像を、一定の秒数だけスキップします。



CM スキップ / CM バックする

再生中に **⏮** / **⏭** ボタンを押す

ボタンを押すごとに、スキップする秒数を選べます。

■ CM スキップ

「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」
→ 「2分」 → 「3分」 → 「5分」
→ 「10分」 → 「0秒」

■ CM バック

「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」
→ 「1分」 → 「2分」 → 「3分」
→ 「0秒」

選んだ秒数を2秒間表示したあと、映像をスキップします。

お気に入りの場面を登録する

ブックマーク

リモコンでの操作 **DVD**

DVDビデオの機能です。

お気に入りの場面を本機に登録して、次に再生するときはその場面から再生することができます。

お気に入りの場面を登録する



本機に登録できる場面の数について

- 本機に登録できる場面の数は1枚のディスクにつき1場面です。5枚を超えるディスクでお気に入りの場面を登録した場合、一番古いディスクの登録内容が消されて、新しいディスクの場面を登録します。

1 お気に入りの場面を登録する

再生中に **④** ボタンを押す

登録したい場面でブックマークボタンを押すと、次回の再生は、登録した場面から再開されます。



メモ

- **④** ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、**④** ボタンを2秒以上押ししてください。

再生を中断した場面を登録する

1 再生を中断した場面を登録する

再生中に本体の **▲** ボタンを2秒以上押し、ディスクを取り出す

再生が中断され、ディスクが出てきます。

再生を中断したときの場面が本機に登録され、次回の再生は、登録した場面から再開されます。



メモ

- **▲** ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、**▲** ボタンを押してディスクを取り出してください。

タイトル(トラック)を指定する

リモコンでの操作 **DVD**

DVD、ビデオCDの機能です。

リモコンを使ってタイトル(トラック)を選べます。

1 タイトル(トラック)を指定する

ディスク再生停止中に、**①** ~ **⑩** ボタンを押す

3を選ぶには、**③** のボタンを押します。

10を選ぶには、**⑩**、**①** と押します。

23を選ぶには、**⑩**、**⑩**、**③** の順に押しします。



メモ

- PBC機能付きビデオCDでは、この操作はできません。

内蔵DVD

8

CHAPTER (トラック) を直接指定する

ダイレクトサーチ

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンを使ってCHAPTER (トラック) を直接選べます。

1 CHAPTER (トラック) 番号入力画面を表示する

 ボタンを押す

2 見たいCHAPTER (トラック) の番号を選ぶ

① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③ のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩ と押します。


● ⑩ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだCHAPTER (トラック) を再生する

もう一度  ボタンを押す



メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、この操作はできません。
- WMA / MP3 / AAC、DivX 再生時は、再生しているフォルダー内のファイルだけ選べます。
- CHAPTER (トラック) 番号入力を解除するには、 ボタンを押します。(約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

内蔵DVD

9

コマ送り再生をする

リモコンでの操作 **DVD DVH**


DVD、DivX、ビデオ CD の機能です。

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 コマ送り再生をする



再生中に ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。



メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れることがあります。
- コマ戻しはできません。
- DVD-VR ディスクに収録された静止画像を表示中に  ボタンを押すと、次の静止画像または映像に切り換わります。


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**


DVD、DivX、ビデオCDの機能です。



再生のスピードを遅くして見ることができます。

1 スロー再生をする

再生中に  ボタンを1秒以上押し

 (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、 ボタンを押します。


スロー再生中に、 または  ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更することができます。

ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/2 ↔ 1/4 ↔ 1/8 ↔ 1/16



メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- DivXでは、スロー再生の速度は変更できません。


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

DVD、DivXの機能です。

言語や音声タイプ(ドルビーデジタルやDTSなど)の違いで複数の音声が入録されているディスクでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 音声選択マークを表示する

再生中に  ボタンを押す

音声選択マーク () が約8秒間表示されます。




2 音声を切り換える

音声選択マークが表示されている間に  ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。



メモ

- この機能は、音声が入録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、収録音声の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 音声言語の切り換えはDVD設定でも行うことができます。詳しくは、「基本音声を設定する」( DVD設定  118ページ) をご覧ください。
- DTS音声は、デジタル出力だけに対応しています。本機の光デジタル出力を接続していないとき、DTS音声は出力されません。この場合は、DTS以外の音声を選んでください。
- “Dolby D” や “5.1ch” などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

内蔵DVD
12

再生中に字幕言語を切り換える

マルチ字幕


リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

DVD、DivX の機能です。

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 字幕選択マークを表示する。

再生中に **[字幕]** ボタンを押す

字幕選択マーク () が約8秒間表示されます。

2 音声言語を切り換える



字幕選択マークが表示されている間に

[字幕] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。



メモ

- この機能は、字幕が複数収録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、収録字幕の数を表しています。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕の切り換えはDVD設定でも行うことができます。詳しくは、「基本字幕を設定する」( DVD設定 ② 117ページ) をご覧ください。

内蔵DVD
13

再生中にアングルを切り換える

マルチアングル



リモコンでの操作 **DVD** **DVH**

DVDビデオの機能です。

複数の角度(アングル)から撮影した映像が収録されているDVDでは、再生中にアングルを切り換えることができます。




アングル切り換えができる場面について

- 本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下に  (マルチアングルマーク) を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示のON/OFFは、内蔵DVDの初期設定で行います。詳しくは、「マルチアングルマーク表示を設定する」( DVD設定 ⑥ 119ページ) をご覧ください。

1 マルチアングルマークを表示する

再生中に **[P2/P3]** ボタンを押す

マルチアングルマーク () と現在のアングル番号が約8秒間表示されます。

2 アングルを切り換える


マルチアングルマークとアングル番号

が表示されている間に **[P2/P3]** ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。



メモ

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ有効です。
- DVDのパッケージにある  マークの数字が、アングルの数を表しています。
- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に **[P2/P3]** ボタンを押すと、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。

指定された場面に戻る

リモコンでの操作 **DVH**

DVDビデオの機能です。

DVDであらかじめ指定されている場面に戻ることができます。



ご注意

- 戻るシーンが指定されていないDVDでは、この機能は無効です。



指定されている場面に戻す

RETURN ボタンを押す

オートプレイを設定する

オートプレイ

リモコンでの操作 **DVD**

DVDビデオの機能です。

DVDディスク挿入と同時に、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始することができます。



オートプレイをONにする

ENTER ボタンを押す

「AUTO PLAY:ON」と表示され、オートプレイの設定がONになります。

もう一度押すと、OFFになります。



メモ

- ディスクによっては、オートプレイをONにしても、期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにしてください。
- オートプレイがONのときは、リピート再生ができません。(※ 内蔵DVD ④ 46ページ)

内蔵DVD

16

タイトル名を見て再生したいタイトルを探す

タイトルリスト表示

DVD-VRディスクの機能です。

複数のタイトルの一覧（タイトルリスト）を見ながら、再生したいタイトルを選べます。タイトルリストは、別売のモニターに表示されます。オリジナルモードとプレイリストモードのそれぞれで操作できます。

1 タイトルリストを表示する

LIST ボタンを押す

2 再生したいタイトルを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとにタイトルが切り換わります。

3 選んだタイトルを再生する

ロータリーコマンドーを押す

選んだタイトルが再生されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- リモコン（DVHモード）のジョイスティックを使って、タイトルリストを操作することもできます。



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、「LIST」が表示されます。
- タイトルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

内蔵DVD

17

曲名を見て聞きたい曲を探す

トラックリスト表示

CD TEXT の機能です。

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧（トラックリスト）を見ながら、聞きたい曲を選べます。トラックリストは、別売のモニターに表示されます。

1 トラックリストを表示する

LIST ボタンを押す

2 再生したいトラックを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとにトラックが切り換わります。

3 ファイルを再生する

ロータリーコマンドーを押す

選んだトラックが再生されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、「LIST」が表示されます。
- リモコン（DVHモード）のジョイスティックを使って、トラックリストを操作することもできます。
- トラックリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

WMA／MP3／AAC、DivX の機能です。

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

LIST ボタンを押す

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーのリストを表示する

ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

5 ファイルを再生する

ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます。

6 ぶだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す



知っているると便利

- ロータリーコマンドを上下に操作して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- ロータリーコマンドを左に操作すると、1つ前のリスト（1つ上の階層）に戻ります。
- フォルダーを選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、選んだフォルダー内の曲を1曲目からすべて再生できます。ロータリーコマンドを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドを右に操作して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドを左に長く操作します。
- リモコン（DVHモード）のジョイスティックを使って、フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、「LIST」が表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

DVDビデオディスク、ビデオCD再生時

REPEAT (再生範囲設定)
(内蔵DVD 20 46 ページ)



LR SELECT (音声出力設定)
(内蔵DVD 21 47 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)
(内蔵DVD 24 49 ページ)



COMPRESSION (コンプレッション設定)
(内蔵DVD 26 50 ページ)



REPEATに戻る

DVD-VRディスク再生時

REPEAT (再生範囲設定)
(内蔵DVD 20 46 ページ)



LR SELECT (音声出力設定)
(内蔵DVD 21 47 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)
(内蔵DVD 24 49 ページ)



COMPRESSION (コンプレッション設定)
(内蔵DVD 26 50 ページ)



PLAYLIST (再生モード設定)
(内蔵DVD 27 50 ページ)



REPEATに戻る

DivX再生時

REPEAT (再生範囲設定)
(内蔵DVD 20 46 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)
(内蔵DVD 24 49 ページ)



COMPRESSION (コンプレッション設定)
(内蔵DVD 26 50 ページ)



REPEATに戻る

音楽データ (CD-DA) 再生時

REPEAT (再生範囲設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 46 ページ)

↑ ↓

RANDOM (ランダムプレイ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 47 ページ)

↑ ↓

SCAN (スキャンプレイ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 48 ページ)

↑ ↓

PAUSE (ポーズ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 49 ページ)

↑ ↓

SEARCH (ラフサーチ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 49 ページ)

↑ ↓

COMPRESSION (コンプレッション設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 50 ページ)

↑ ↓

TITLE INPUT (タイトル入力)
(E38 内蔵DVD ㉔ 51 ページ)

↑ ↓

REPEATに戻る

WMA / MP3 / AAC、CD TEXT 再生時

REPEAT (再生範囲設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 46 ページ)

↑ ↓

RANDOM (ランダムプレイ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 47 ページ)

↑ ↓

SCAN (スキャンプレイ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 48 ページ)

↑ ↓

PAUSE (ポーズ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 49 ページ)

↑ ↓

SEARCH (ラフサーチ設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 49 ページ)

↑ ↓

COMPRESSION (コンプレッション設定)
(E38 内蔵DVD ㉔ 50 ページ)

↑ ↓

REPEATに戻る



知っている则便利

- リモコンの(FUNC) ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- PBC機能付きビデオCDでは、REPEAT (再生範囲切替) には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(タイトル入力を選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

ディスクリピート:

再生中のディスクを繰り返し再生します。

チャプターリピート:

再生中のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート:

再生中のタイトルを繰り返し再生します。

トラックリピート:

再生中のトラック（ファイル）を繰り返し再生します。

フォルダーリピート:

再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

DVD 再生時

DISC（ディスクリピート）



CHAPTER（チャプターリピート）



TITLE（タイトルリピート）



DISCに戻る

CD、ビデオCD 再生時

DISC（ディスクリピート）



TRACK（トラックリピート）



DISCに戻る

WMA / MP3 / AAC、DivX 再生時

DISC（ディスクリピート）



TRACK（トラックリピート）



FOLDER（フォルダーリピート）



DISCに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- DVD やビデオCD では、ディスクリピートでディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示するか、再生を停止します。
- DVD オートプレイ（ES 内蔵DVD 41 ページ）がONに設定されている場合、再生範囲設定できません。
- PBC機能付きビデオCDでは、再生範囲の設定はできません。また、本機では、PBC再生は解除できません。
- フォルダーリピート再生中に他のフォルダーを選んだときは、ディスクリピートに切り換わります。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内のファイルだけを再生します。サブフォルダー内のファイルは、再生しません。

音声の出力方法を切り換える

音声出力設定

DVD、ビデオCDの機能です。

音声の出力方法をステレオまたはモノラル、左右ミックスに切り換えることができます。



ご注意

- DVDでは、音声はLPCMのときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。
- デジタル出力の設定が、STREAMに設定されていると、音声の出力方法は切り換えられません。Dual Monoモードで記録されたDVDビデオディスクを再生するときは、デジタル出力の設定を「LINEAR PCM」に設定してください。(※ DVD設定 ⑩ 123ページ)

1 音声出力設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「LR SELECT」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

L+R (ステレオ)



L (モノ左)



R (モノ右)



MIX (左右ミックス)



L+R (ステレオ) に戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

CD、WMA/MP3/AACの機能です。

曲を順不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます
(※ 内蔵DVD ⑳)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「RANDOM」を選ぶ

3 ランダムプレイをONにする

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、OFFになります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っているといい便利

- ふだんの再生画面でRDMボタンを押すことでも、ランダムプレイ設定をON/OFFすることができます。(※ ここだけで ④ 33ページ)



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD：ディスクリピート
WMA/MP3/AAC：フォルダーリピート

CD、WMA／MP3／AACの機能です。

曲やフォルダーのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます。(スキャン再生)聞きたい曲やフォルダーを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます

(15 内蔵DVD 20 46ページ)

■ 聞きたい曲を探すとき (トラックスキャン再生)

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- CD再生時は、ディスクリPEATに切り換えます。
- WMA／MP3／AAC再生時は、フォルダーリPEATに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーを探すとき (フォルダースキャン再生)

再生中のディスクの全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- WMA／MP3／AAC再生時に、ディスクリPEATに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイをONにする

ロータリーコマンドーを押す

曲やフォルダーのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

ロータリーコマンドーを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドーを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャンプレイを始めた曲(フォルダー)まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリPEATのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD：ディスクリPEAT
MP3／WMA／AAC：フォルダーリPEAT

再生を一時停止する

ポーズ設定

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズをONにする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

10曲飛びに選曲する

ラフサーチ表示

CD、WMA／MP3／AACの機能です。

10曲以上収録されているディスクまたはフォルダーの場合、10曲飛びに選曲できます。

1 ラフサーチ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SEARCH」を選ぶ

2 ROUGH (ラフサーチ) にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、FF／REV (早送り／早戻し) になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

4 10曲ごとに選曲する

ロータリーコマンドーを左右に長く操作する

10曲先を選ぶとき：右に長く操作する
10曲前を選ぶとき：左に長く操作する



メモ

- 曲数が10曲以下のディスクやフォルダーでラフサーチをすると、最初または最後の曲が選択されます。残りが10曲以下のときに、ラフサーチをした場合も同様です。

内蔵DVD 26 音を聞きやすくする

コンプレッション設定

再生しているディスクの音質に簡単な補正を加え、より聞きやすい音に調節できます。



COMPとは

- COMPは、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差(ダイナミックレンジ)を小さくします。

1 コンプレッション設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「COMPRESSION」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF
↓
1
↓
2
↓
OFFに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 1より2の方が効果が大きくなります。

内蔵DVD 27 再生モードの切り換え

PLAYLIST

DVD-VRディスクの機能です。

ORIGINAL (オリジナルモード) または、PLAYLIST (プレイリストモード) のどちらかを選んで再生できます。



ご注意

- プレイリストが作成されているディスクを再生したときだけ、PLAYLIST (再生モードの切り換え) が選べます。



プレイリストとは

- DVDレコーダーで作られたタイトルをオリジナルと呼びます。そして、オリジナルを元に編集用として作成したタイトルをプレイリストと呼びます。

1 再生モード設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「PLAYLIST」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、「ORIGINAL」と「PLAYLIST」が切り換わります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音楽データ (CD-DA) の機能です。

CDにタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。

CDにタイトルを入力する



注意

- 「CD TEXT」(※ はじめに ② 10ページ)を再生しているときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生する

2 タイトル入力画面にする

ロータリーコマンドーを操作して、「TITLE INPUT」を選ぶ

3 タイトルを入力する

ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

■ 入力したい文字を選ぶとき

次の文字を選ぶ：上に操作する
前の文字を選ぶ：下に操作する

文字は、空白 ()、アルファベット (A～Z)、記号 (I、+、#など)、数字 (0～9) の中から選ぶことができます。

■ 入力したい位置にカーソルを移動するとき

右に移動する：右に操作する
左に移動する：左に操作する

4 10文字目を点滅させる

ロータリーコマンドーを右に操作する

5

入力したタイトルを登録する

10文字目が点滅しているときに、ロータリーコマンドーを右に操作する

入力位置の点滅が終わると、入力したタイトルが登録されます。

6

ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。(入力中のタイトルは登録されません。)



メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- 内蔵DVDには、CD48枚分のタイトルを登録できます。
- 48枚を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

入力したタイトルを表示する

1

表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、「再生経過時間」と「DISC TITLE (ディスクタイトル)」が切り換わります。



メモ

- CDのタイトルを入力していない場合は、DISC TITLE (ディスクタイトル) には切り換わりません。

情報画面／タイトル画面を表示する

別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

DVDビデオディスク

表示OFF



情報画面 1



情報画面 2



表示OFFに戻る

DVD-VRディスク

表示OFF



情報画面 1



情報画面 2



タイトル画面



表示OFFに戻る

ビデオCD

表示OFF



情報画面



表示OFFに戻る

DivX

表示OFF



情報画面



タイトル画面



表示OFFに戻る

CD TEXT、WMA／MP3／AAC

情報画面

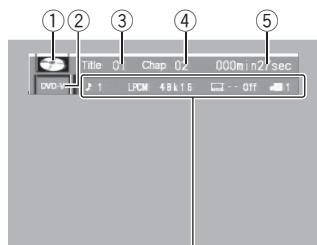


タイトル画面

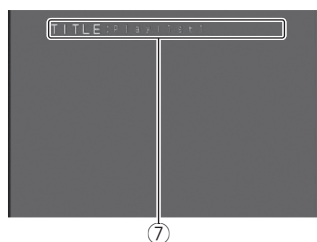


情報画面に戻る

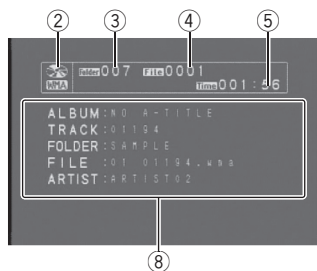
例1：DVDの情報画面



例2：DVDのタイトル画面



例3：WMAのタイトル画面



① ディスクの種類

WMA／MP3／AACファイル、音楽CDのデータおよびDivXファイルが混在しているディスクの場合、「MIXED」と表示されます。

② メディアの種類

③ タイトル／フォルダー番号

④ チャプター／ファイル／トラック番号

⑤ 再生経過時間

⑥ 設定表示

DVDビデオ再生時：

音声：字幕言語、アングル、再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DVD-VRディスク再生時：

再生モード、音声タイプ、音声出力の方法、字幕設定、再生範囲が表示されます。

ビデオCD再生時：

再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DivX再生時：

音声タイプ、字幕番号、再生範囲が表示されます。

WMA／MP3／AAC、CD TEXT再生時：再生範囲、ランダム設定、スキャン設定が表示されます。

⑦ タイトル名

⑧ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

「CD-TEXT」再生時：

- D.TITLE (ディスクタイトル)
- D.ARTIST (ディスクアーティスト名)
- T.TITLE (トラックタイトル)
- T.ARTIST (トラックアーティスト名)

WMA／MP3／AAC再生時：

- ALBUM (アルバムタイトル)
- TRACK (トラックタイトル)
- FOLDER (フォルダー名)
- FILE (ファイル名)
- ARTIST (アーティスト名)



メモ

- タイトル画面の文字表示はひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。
- 音楽CDにタイトルを入力した場合、DISPLAYボタンを押すと、本機のディスプレイがディスクタイトルに切り換わります。(※ 内蔵DVD 51ページ)

ラジオ

1

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます。(プリセットメモリー)登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 登録したい放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

3 放送局を登録する

リモコンの①～⑥ボタンの1つを長く押す

登録動作中に押したボタンの番号(登録番号)が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

ラジオ

2

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 放送局を登録したバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 登録した放送局を受信する

■ プリセット番号を指定して受信するとき

リモコンの①～⑥ボタンの1つを押す

■ プリセット番号順に受信するとき

ロータリーコマンドを上下に操作する

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」「放送局名を選ぶ」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

BSM (BSM設定)

(ラジオ ④)



STATION NAME (放送局名選択)

(ラジオ ⑤ 56ページ)



BSMに戻る



知っていると便利

- リモコンの **(FUNC)** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

2 BSM設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「BSM」を選ぶ

3 BSMを開始する

ロータリーコマンドを押す

登録動作が終わると「SEARCH」の点滅が終わり、1のボタンに登録した放送局を受信します。

もう一度押すと、途中解除します。

4 ふだんの受信画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。たとえば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。



メモ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

ラジオ
5

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局の放送局名を選べます。表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更することができます。



ご注意

- 本機に登録されていない放送局名は選べません。

1

実際の放送局名と表示が異なる場合、放送局名選択にする

ロータリーコマンドを操作して、「STATION NAME」を選ぶ

2

放送局名を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

次の放送局名を選ぶとき：右に操作する
前の放送局名を選ぶとき：左に操作する

3

選んだ放送局名に変更する

ロータリーコマンドを押す

4

ふだんの受信画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 放送局名を表示させたくないときは、すべて空白の表示を選びます。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「FM M-CD」に変更できます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「FM TV SOUND」に変更できます。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「NO DATA」と表示されます。

ラジオ
6

放送局名を表示する

放送局名表示

受信している放送局の放送局名を表示できません。

1

表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります。

周波数表示



放送局名表示



周波数表示に戻る



知っていると便利

- 表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更できます。(※ ラジオ ④)

USB
1

曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って聞きたい曲を直接選べます。

1 曲番号入力画面を表示する


 ボタンを押す

2 聞きたい曲の番号を入力する

① ~ ⑨ ボタンを押す

3を選ぶには、③のボタンを押します。

10を選ぶには、①、⑩と押します。


●  ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだ曲を再生する

 ボタンを押す



メモ

- 再生しているフォルダー内の曲（ファイル）だけ選べます。
- 曲番号入力画面を解除するには、 ボタンを押します。（約8秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。）

USB
2

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーを探す

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

LIST ボタンを押す

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストを表示する

ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダーに収録されているフォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー／ファイルが切り換わります。

5 ファイルを再生する

ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます。

ロータリーコマンドを右に操作しても、選んだファイルが再生されます。

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

6 再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

知っているとも便利

- ロータリーコマンドを上下に操作して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- ロータリーコマンドを左に操作すると、1つ前のリスト（1つ上の階層）に戻ります。
- フォルダーを選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、選んだフォルダー内の曲を1曲目からすべて再生できます。ロータリーコマンドを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドを右に操作して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドを左に長く操作します。
- リモコン（DVHモード）のジョイスティックを使って、フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。

メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、「LIST」が表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

REPEAT（再生範囲設定）
( USB ④ 60 ページ)



RANDOM（ランダムプレイ設定）
( USB ⑤ 60 ページ)



SCAN（スキャンプレイ設定）
( USB ⑥ 61 ページ)



PAUSE（ポーズ設定）
( USB ⑦ 62 ページ)



REPEATに戻る

知っているとも便利

- リモコンの(FUNC) ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

USB
4

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。



設定の内容

オールリピート：

すべての曲を繰り返し再生します。

トラックリピート：

再生中の曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

ALL（オールリピート）



TRACK（トラックリピート）



FOLDER（フォルダーリピート）



ALLに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

USB
5

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでもおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます（※ USB ④）

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「RANDOM」を選ぶ

3 ランダムプレイをONにする

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、OFFになります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っている则便利

- ふだんの再生画面でRDM ボタンを押すことでも、ランダムプレイ設定をON/OFFすることができます。（※ ここだけで ⑥ 33 ページ）



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲のはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます。(スキャン再生)聞きたい曲を探るときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます (USB ④)

■ 聞いているフォルダー内で聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダーのすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。

■ USB 機器全体から聞きたい曲を探すとき

USB 機器に収録されているすべての曲を、約10秒ずつ再生します。再生範囲をオールリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイをONにする

ロータリーコマンドーを押す

曲の初めの約10秒間が徐々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動的に戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

ロータリーコマンドーを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドーを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

USB
7

再生を一時停止する

ポーズ設定

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズをONにする

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- ポーズ設定のON／OFFの切り換えは、リモコン（DVHモード）の  ボタンでも操作できます。

USB
8

ソース情報画面／タイトル画面を表示する

フォルダー番号、再生経過時間など（ソース情報画面）とタイトル（タイトル画面）を表示することができます。ソース情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1 画面を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

ソース情報画面

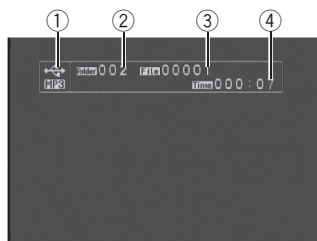


ソース情報画面、タイトル画面

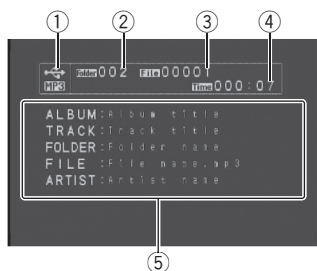


ソース情報画面に戻る

ソース情報画面



タイトル画面



- ① ソースの種類
- ② フォルダー番号
- ③ トラック（ファイル）番号
- ④ 再生経過時間
- ⑤ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

ALBUM（アルバムタイトル）
TRACK（トラックタイトル）
FOLDER（フォルダー名）
FILE（ファイル名）
ARTIST（アーティスト名）

メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- WAVを再生しているときは、FOLDERとFILEの2つのみが表示されます。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

iPod
1

CHAPTER 1

USB 接続時のみ操作できる機能です。

再生しているオーディオブックやPodcastに
チャプターがある場合、チャプターを選べ
ます。

1 チャプターを選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

次のチャプターを選ぶとき：右に操作する
前のチャプターを選ぶとき：左に操作する

iPod
2

CHAPTER 2

ジャンル、アーティスト、アルバムのリスト
から、お好みのアーティストやアルバムな
どを選んで再生できます。リスト表示は、別
売のモニターに表示されます。

1 ブラウズモードにする

LIST ボタンを押す

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回してお好み
の項目を選び、ロータリーコマンド
を押す

プレイリスト、アーティスト、アルバム、
曲、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者、
オーディオブックの中から選べます。

3 項目を絞り込む

手順2の操作を繰り返して、項目を絞
り込む

4 曲を選ぶ

ロータリーコマンドを回してお好み
の曲を選び、ロータリーコマンドを
押す

選んだ曲の再生が始まります。

USB 接続時のみ操作できる機能です。

アーティストやアルバムなどのリスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。



ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベット、数字、および記号で記録されているものが対象です。

1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する

「聞きたい曲を探す」(iPod ②) の手順 1 ~ 3 を参照して、アーティストやアルバムなどのリストを表示する

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中に LIST ボタンを押す

3 アルファベットを選ぶ

ロータリーコマンドーを回して検索したいアルファベットを表示し、ロータリーコマンドーを押す

指定したアルファベットの最初のアーティストやアルバムにカーソルが合った状態で、リストが表示されます。

- 対象となる曲がなかったときは、「NOT FOUND」が表示され、リスト表示に戻ります。

4 曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを回して好みの曲を選び、ロータリーコマンドーを押す

選んだ曲の再生が始まります。



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、項目を切り換えることもできます。
- ロータリーコマンドーを左に操作すると、前の項目 (1 つ上の階層) に戻ります。
- アルファベット順に表示する項目のときに、LIST ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります。(iPod ③)
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンドーを長く押し、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。ロータリーコマンドーを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドーを右に操作して、項目を選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドーを左に長く操作します。
- ジョイスティック (DVHモード) を上下左右に操作しても、同様の操作ができます。



メモ

- 文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、「LIST」が表示されません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

ファンクションメニューの切り換えかた

「同じ曲やリストを繰り返し聞く」「いつもと違う曲順で聞く」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

■USBで接続しているとき

REPEAT (再生範囲設定)

(英語 iPod ⑤)



SHUFFLE (シャッフル設定)

(英語 iPod ⑥)



SHUFFLE ALL (シャッフルオール設定)

(英語 iPod ⑦ 68ページ)



LINK SEARCH (リンクサーチ)

(英語 iPod ⑧ 68ページ)



CONTROL (操作設定)

(英語 iPod ⑨ 69ページ)



PAUSE (ポーズ設定)

(英語 iPod ⑩ 70ページ)



AUDIOBOOKS (オーディオブック設定)

(英語 iPod ⑪ 70ページ)



REPEATに戻る

■iPodアダプターで接続しているとき

REPEAT (再生範囲設定)

(英語 iPod ⑤)



SHUFFLE (シャッフル設定)

(英語 iPod ⑥)



PAUSE (ポーズ設定)

(英語 iPod ⑩ 70ページ)



REPEATに戻る



知っている则便利

- リモコンの **FUNC** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲やリストを 繰り返し聞く

再生範囲設定

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲、今聞いているリストから選べます。



設定の内容

1 曲リピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

リスト内全曲リピート：

今聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。



ご注意

- 1曲リピートを選ぶと、ロータリーコマンドを左右に操作して曲を選ぶことはできなくなります。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「REPEAT」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

ONE（1曲リピート）



ALL（リスト内全曲リピート）



ONEに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

いつもと違う曲順で 聞く

シャッフル設定

曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。



設定の内容

ソングシャッフル：

今聞いているリスト内の曲をランダムに再生します。

アルバムシャッフル：

アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生します。

1 シャッフル設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「SHUFFLE」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

OFF



SONGS（ソングシャッフル）



ALBUMS（アルバムシャッフル）



OFFに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っている则便利

- iPodをiPodアダプターで接続しているときは、ふだんの再生画面でRDMボタンを押すことで、シャッフル設定を切り換えることができます。（※ ここだけで 33 ページ）

iPod
7**すべての曲をシャッフルしてから再生する**

全曲シャッフル

USB 接続時のみ操作できる機能です。

iPodのミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同（ランダム）に再生できます。

1 シャッフルオール設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SHUFFLE ALL」を選ぶ

2 全曲シャッフルを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
「ON」が2秒間表示されます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- ふだんの再生画面でRDMボタンを押すことでも、全曲シャッフルをONにすることができます。(※ ここだけで ⑥ 33 ページ)
- 全曲シャッフルを解除するには、「シャッフル設定」で「OFF」を選びます。(※ iPod ⑥ 67 ページ)

iPod
8**アルバムリストにショートカットする**

リンクサーチ

USB 接続時のみ操作できる機能です。

再生中のアーティストのアルバムリストを直接表示できます。アーティストの他のアルバムや曲を聞きたくなったときに便利です。



ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。

1 リンクサーチにする

ロータリーコマンドーを操作して、「LINK SEARCH」を選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

再生中のアーティストのアルバムリストが表示されます。

3 アルバムまたは曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ
(※ iPod ② 64 ページ)



知っていると便利

- ふだんの再生画面でLISTボタンを長く押すことでも、リンクサーチを始めることができます。(※ ここだけで ⑥ 33 ページ)

USB 接続時のみ操作できる機能です。ただし、以下の iPod では、操作できません。

- 第5世代 iPod (Ver. 1.2.1)
- 第1世代 iPod nano (Ver. 1.3.1)

接続した iPod から本機の iPod 機能进行操作できます。



ご注意

- iPod から本機を操作（「操作設定」を「IPOD」に設定）して再生した場合、車のエンジンスイッチを OFF にしても、iPod の再生は停止しません。iPod の再生を停止するには、iPod を操作してください。



設定の内容

IPOD :

iPod から本機の iPod 機能进行操作します。

AUDIO :

本機から本機の iPod 機能进行操作します。



ご注意

- 「IPOD」に設定した場合は、以下の制限があります。
 - ふだんの再生画面では、再生経過時間やタイトルは表示されません。
 - ファンクションメニューは、「操作設定」以外には切り換わりません。
 - ブラウズモード（※ iPod ② 64ページ）には切り換わりません。
 - 音量は本機からしか調節できません。
- 設定を「IPOD」に切り換えると、再生は一時停止します。iPod を操作して、再生してください。



知っていると便利

- ふだんの再生画面で RDM ボタンを長く押すことでも、コントロールモードの設定を切り換えることができます。（※ **ここだけで ⑥ 33ページ**）
- 「操作設定」を「IPOD」に設定していても、本機のロータリーコマンドを左右に操作することで曲を選ぶことができます。

1 操作設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「CONTROL」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す

押すごとに「IPOD」と「AUDIO」が切り換わります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

iPod
10

再生を一時停止する

ポーズ設定

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズをONにする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- ポーズ設定のON／OFFの切り換えは、リモコン（DVHモード）の  ボタンでも操作できます。

iPod
11

オーディオブックの再生速度を変更する

USB接続時のみ操作できる機能です。

オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 オーディオブックにする

ロータリーコマンドーを操作して、「AUDIOBOOKS」を選ぶ

2 再生速度を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次のように切り換わります。

NORMAL（標準）



FASTER（やや速い）



SLOWER（やや遅い）



NORMALに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

タイトルや曲番号、再生経過時間などのソース情報画面を表示することができます。ソース情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。

1 画面を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

ソース情報画面

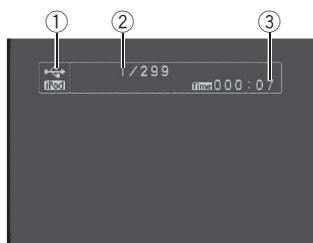


ソース情報画面、タイトル画面

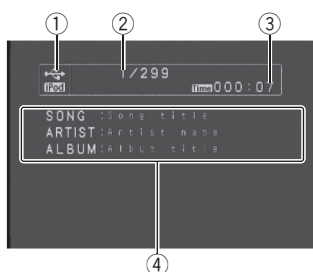


ソース情報画面に戻る

ソース情報画面



タイトル画面



- ① ソースの種類
- ② 曲番号
- ③ 再生経過時間
- ④ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

SONG (曲名)

ARTIST (アーティスト名)

ALBUM (アルバム名)



メモ

- ソース情報画面／タイトル画面は、別売のモニターに表示されます。タイトル名の文字表示はひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

1 ソースをマルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
(※ ここだけで ① 26 ページ)

2 ディスクを切り換える

ロータリーコマンドを上下に操作する

次のディスクを選ぶとき：上に操作する
前のディスクを選ぶとき：下に操作する

3 曲を選ぶ (または早送り／早戻しする)

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する
前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しするとき

早送り：右に操作し続ける
早戻し：左に操作し続ける

4 マルチCDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする
(※ ここだけで ① 26 ページ)



知っていると便利

- リモコンの ① ～ ⑥ ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7～12枚目のCDを選ぶ場合は、①～⑥ ボタンを長く押しします。
- 内蔵DVD同様に、曲を直接選ぶことができます。(ダイレクトサーチ) (※ 内蔵DVD ③ 38 ページ)



メモ

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル表示やアーティスト名表示にすると、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると、「READY」と表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」と表示されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

REPEAT (再生範囲設定)
(※ マルチCD ③ 74 ページ)



RANDOM (ランダムプレイ設定)
(※ マルチCD ④ 74 ページ)



SCAN (スキャンプレイ設定)
(※ マルチCD ⑤ 75 ページ)



PAUSE (ポーズ設定)
(※ マルチCD ⑥ 76 ページ)



COMP/DBE (コンプレッション設定)
(※ マルチCD ⑦ 76 ページ)



ITS PLAY (ITSプレイ設定)
(※ マルチCD ⑨ 77 ページ)



ITS MEMO (ITS指定)
(※ マルチCD ⑧ 77 ページ)



TITLE INPUT (タイトル入力)
(※ マルチCD ⑩ 79 ページ)



REPEATに戻る



知っていると便利

- リモコンの(FUNC) ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(タイトル入力やITS指定を選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、TITLE INPUT (タイトル入力) には切り換わりません。「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

マルチCD
3

繰り返し再生する

再生範囲設定

繰り返し再生する範囲を設定できます。繰り返し再生の範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。



設定の内容

マルチCDリピート：

マルチCDにセットされているすべてのディスクを繰り返し再生します。

トラックリピート：

再生中の曲を繰り返し再生します。

ディスクリピート：

再生中のディスクを繰り返し再生します。

1

再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「REPEAT」を選ぶ

2

設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

MCD (マルチCDリピート) → TRACK (トラックリピート) → DISC (ディスクリピート) → MCDに戻る

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

マルチCD
4

違う曲順で再生する

ランダムプレイ設定

曲やCDを順不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1

ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切替で選んだ範囲で行われます(※ マルチCD ③)

2

ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「RANDOM」を選ぶ

3

ランダムプレイをONにする

ロータリーコマンドーを押すもう一度押すと、OFFになります。

4

BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っている则便利

- ふだんの再生画面でRDMボタンを押すことでも、ランダムプレイ設定をON/OFFすることができます。(※ ここだけで ⑥ 33ページ)




メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲やディスクのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます。(スキャン再生) 聞きたい曲やディスクを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます
( マルチCD ③)

■ 聞きたい曲を探すとき (トラックスキャン再生)

CD内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- ディスクリピートに切り換えます。

■ 聞きたいディスクを探すとき (ディスクスキャン再生)

マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- マルチCDリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「SCAN」を選ぶ

3 スキャンプレイをONにする

ロータリーコマンドを押す

曲やディスクのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やディスクが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

ロータリーコマンドを押す

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スキャンプレイを始めた曲(ディスク)まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

マルチCD

6

再生を一時停止する

ポーズ設定

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「PAUSE」を選ぶ

2 ポーズをONにする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- ポーズ設定のON/ OFFの切り換えは、リモコン (DVHモード) の  ボタンでも操作できます。

マルチCD

7

音を聞きやすくする

コンプレッション設定

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。COMP / DBE 機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。



ご注意

- COMP (DBE) 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示され、操作できません。



COMPとは

- COMPは、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差 (ダイナミックレンジ) を小さくします。



DBEとは

- DBEは、「Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス)」の略です。車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「COMP」を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。

OFF → COMP 1 → COMP 2 → OFF →
DBE 1 → DBE 2 → 最初のOFFに戻る

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- COMP、DBEのどちらも、1より2の方が効果が大きくなります。

聞きたい曲を指定する

ITS 指定

聞きたい曲だけを再生するために、再生する曲をあらかじめ指定しておきます。



ITSとは

- ITSは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。指定した曲だけを再生できます。ITSの指定は、ITS解除を行うまで有効です。(※ マルチCD ⑩ ⑪ 78ページ)

1 指定したい曲の入ったCDを再生する

ロータリーコマンドを上下に操作する

2 ITS 指定にする

ロータリーコマンドを操作して、「ITS MEMO」を選ぶ

3 指定したい曲を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

4 選んだ曲を ITS 指定する

ロータリーコマンドを上にも操作する
「MEMORY COMPLETE」が2秒間表示され、指定が完了したことを知らせます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、曲の指定は解除されません。
- CD1枚につき、99曲まで指定できます。(「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDプレーヤーでは、指定できる曲は24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル入力 (※ マルチCD ⑩ 79ページ) と合わせて、CD100枚分の指定ができます。
- 100枚を超えたときは、一番古い指定内容が解除されて、新しいCDの曲が指定されます。

指定した曲だけ再生する

ITS 再生プレイ設定

ITS 指定 (※ マルチCD ⑧) で指定した曲だけを再生できます。

1 ITS 再生する範囲を選んでおく

ITS 再生は、再生範囲切替で選んだ範囲で行われます

(※ マルチCD ③ 74ページ)

2 ITS プレイ設定にする

ロータリーコマンドを操作して、「ITS PLAY」を選ぶ

3 ITS 再生を ON にする

ロータリーコマンドを押す
もう一度押すと、OFFになります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 手順1で選んだ再生範囲に、指定した曲がない場合は、「EMPTY」が2秒間表示され、ITS再生は始まりません。

マルチCD
10曲の指定を1曲ずつ
解除する

ITS 指定 (解除)

ITS 指定 (📖 マルチ CD ⑧ 77 ページ) で
指定した曲を1曲ずつ解除できます。

1 ITS 再生を ON にする

(📖 マルチ CD ⑨ 77 ページ)

2 指定を解除したい曲を
再生する

ロータリーコマンドーを左右に操作する

3 ITS 指定にする

ロータリーコマンドーを操作して、
「ITS MEMO」を選ぶ4 再生している曲の指定を
解除する

ロータリーコマンドーを下に操作する

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 現在の再生範囲に、ITS 指定された曲がなくなつた場合は、「EMPTY」が2秒間表示され、ITS再生がOFFになります。

マルチCD
11曲の指定をCDごと
に解除する

ITS 指定 (解除)

ITS 指定 (📖 マルチ CD ⑧ 77 ページ) で
指定した曲をCDごとに解除できます。

1 ITS 再生を OFF にする

(📖 マルチ CD ⑨ 77 ページ)

2 指定を解除したいCDを
再生する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

3 ITS 指定にする

ロータリーコマンドーを操作して、
「ITS MEMO」を選ぶ4 再生しているCDの指定を
解除するロータリーコマンドーを下に操作する
「MEMORY DELETED」が2秒間表示され、
指定が解除されたことを知らせます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

CDのタイトルを入力する

タイトル入力

CDのタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。



ご注意

- 「CD TEXT」(※はじめに②10ページ)を再生しているときや、タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生する

2 タイトル入力画面を表示する

ロータリーコマンドーを操作して、「TITLE INPUT」を選ぶ

3 タイトルを入力する

ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

■ 入力したい文字を選ぶとき

次の文字を選ぶ：上に操作する
前の文字を選ぶ：下に操作する

文字は、空白 ()、アルファベット (A～Z)、記号 (!, +, #など)、数字 (0～9) の中から選ぶことができます。

■ 入力したい位置にカーソルを移動するとき

右に移動する：右に操作する
左に移動する：左に操作する

4 10文字目を点滅させる

ロータリーコマンドーを右に操作する

5 入力したタイトルを登録する

10文字目が点滅しているときに、ロータリーコマンドーを右に操作する

入力位置の点滅が終わると、入力したタイトルが登録されます。

6 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。(入力中のタイトルは登録されません。)



メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- マルチCDには、ITS (※マルチCD④77ページ)と合わせて、CD100枚分のタイトルを登録できます。
- 100枚を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消えて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

マルチCD
13

タイトルやアーティスト名を表示させる

タイトル表示

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示させることもできます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1

表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

音楽データ (CD-DA) 再生時

再生経過時間 → DISC TITLE (ディスクタイトル) → 再生経過時間に戻る

[CD TEXT] 再生時

再生経過時間 → DISC TITLE (ディスクタイトル) → DISC ARTIST (ディスクアーティスト名) → TRACK TITLE (トラックタイトル) → TRACK ARTIST (トラックアーティスト名) → 再生経過時間に戻る



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISPLAY ボタンを長く押しします。



メモ

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO ARTIST NAME」などと表示されます。
- タイトルを入力していないCDでは、DISC TITLE (ディスクタイトル) には切り換わりません。

マルチCD
14

タイトルを見て聞きたいCDを探す

ディスクリスト表示

CDのタイトル一覧(ディスクリスト)を見ながら、聞きたいCDを選べます。ディスクリストは本機のディスプレイに表示されます。

1

ディスクリストを表示する

LIST ボタンを押す

2

再生したいCDを選ぶ

ロータリーコマンドを回す

次のCDを選ぶとき：右に回す
前のCDを選ぶとき：左に回す

3

選んだCDを再生する

ロータリーコマンドを押す

4

再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



知っていると便利

- ロータリーコマンドを上下に操作して、聞きたいCDを選ぶこともできます。



メモ

- マガジンにCDがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。また、タイトルが入力されていないCDでは、「NO DISC TITLE」と表示されます。
- ディスクリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能については、組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビ

1

テレビのふだんの操作

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

1 ソースをテレビにする

SOURCE ボタンを押す

2 バンドを切り換える

BAND ボタンを押す

3 チャンネルを切り換える

ロータリーコマンドーを左右に操作する

4 テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



知っていると便利

- リモコンの ① ~ ⑥ ボタンでお好みのチャンネルの登録や呼び出しができます。操作方法はラジオと同じです。(ラジオ ① ② 54 ページ)

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

BSSM設定 ↔ MPX (マルチプレックス選択) ↔ BSSM設定に戻る

4 選んだ機能进行操作する

BSSM設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON/OFFします。BSSMが終了すると、自動的にふだんの受信画面に切り換わります。

マルチプレックス選択

ロータリーコマンドを押すごとに、次のように切り換わります。

MAIN → SUB → M+S (MAIN & SUB) → MAINに戻る



BSSMとは

- BSSMは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。



知っている则便利

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの受信画面に戻るときは、BANDボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)

DVD プレーヤーについて

本機でのDVDプレーヤー（例：マルチDVD「XDV-P70」）の基本的な操作方法を説明しています。DVDプレーヤーの機能について詳しくは、組み合わせたDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

S-DVD
1

DVDのふだんの操作

ここだけの操作で、DVDプレーヤーでディスクを再生することができます。

1 ソースをDVD (S-DVD) にする

SOURCE ボタンを押す

2 マルチDVDの場合、ディスクを切り換える

ロータリーコマンドを上下に長く操作する

3 フォルダーを選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

4 チャプター／トラックを選ぶ (または早送り／早戻しする)

ロータリーコマンドを左右に操作する

■聞きたいチャプター／トラックを選ぶとき

次のチャプター／トラックを選ぶ：右に操作する
前のチャプター／トラックを選ぶ：左に操作する

■早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける
早戻し：左に操作し続ける

5 DVDプレーヤーの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする

S-DVD
2

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

DVD、ビデオCD再生時

REPEAT (再生範囲設定) ↔ PAUSE (ポーズ設定) ↔ REPEATに戻る

CD再生時

REPEAT (再生範囲設定) ↔ RANDOM (ランダムプレイ設定) ↔ SCAN (スキャンプレイ設定) ↔ PAUSE (ポーズ設定) ↔ REPEATに戻る

WMA / MP3 / AAC再生時

REPEAT (再生範囲設定) ↔ RANDOM (ランダムプレイ設定) ↔ SCAN (スキャンプレイ設定) ↔ PAUSE (ポーズ設定) ↔ REPEATに戻る

4 選んだ機能进行操作する

再生範囲設定

ロータリーコマンドを押すごとに、再生範囲が次の順序で切り換わります。

DVD 再生時

DISC (ディスクリピート) → CHAPTER (チャプターリピート) → TITLE (タイトルリピート) → DISCに戻る

ビデオ CD、CD 再生時

DISC (ディスクリピート) → TRACK (トラックリピート) → DISCに戻る

WMA / MP3 / AAC 再生時

DISC (ディスクリピート) → TRACK (ファイルリピート) → FOLDER (フォルダーリピート) → DISCに戻る

ランダムプレイ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFF します。

スキャンプレイ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFF します。

ポーズ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFF します。

ITS プレイ設定

ITS プレイ設定の操作方法は、マルチ CD と同じです。(※ マルチ CD ⑨ 77 ページ)

ITS 指定

ITS 指定の操作方法は、マルチ CD と同じです。(※ マルチ CD ⑧ 77 ページ)

タイトル入力

タイトル入力の操作方法は、マルチ CD と同じです。(※ マルチ CD ⑫ 79 ページ)



知っているとも便利

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。
- ランダムプレイ設定の ON / OFF の切り換えは、RDM ボタンでも操作できます。(※ **ここだけで ⑥ 33 ページ**)



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(タイトル入力や ITS 指定を選んでいるとき以外は、30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- 「CD TEXT」に対応している DVD プレーヤーで「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力には切り換わりません。「CD TEXT」にあらがじめ収録されているタイトルは変更できません。)
- 組み合わせた DVD プレーヤー、マルチ DVD プレーヤーによって、選べる機能は異なります。

オーディオ調節メニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで機能を選んで操作します。



本機に「DEQ-P9」を接続している場合

- 『音の調節（別売DSP）』を参照してください。
(※ 別売 DSP ① 94 ページ)
ここで説明している機能は使用できません。

1

メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す

2

オーディオ調整メニューにする

ロータリーコマンドーを回して「AUDIO」を選び、ロータリーコマンドーを押す

3

機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

FADER (BALANCE) (音量バランス調節)
(※ 音の調節 ②)



P.EQ (イコライザー選択)

(※ 音の調節 ③)



EQ-LOW (イコライザー調節)

(※ 音の調節 ④ 88 ページ)



EQ-LOW

(3バンドパラメトリックイコライザー)

(※ 音の調節 ⑤ 88 ページ)



LOUDNESS (ラウドネス)

(※ 音の調節 ⑥ 89 ページ)



SUB W1

(サブウーファアのON/OFFと位相切り換え)

(※ 音の調節 ⑧ 90 ページ)



SUB W2 (サブウーファー調節)

(※ 音の調節 ⑨ 91 ページ)



HPF (ハイパスフィルター)

(※ 音の調節 ⑩ 91 ページ)



BASS BOOST (バスブースター)

(※ 音の調節 ⑪ 92 ページ)



SLA (ソースレベルアジャスター)

(※ 音の調節 ⑫ 92 ページ)



FADER (BALANCE) に戻る



知っていると便利

- リモコンの(Ⓜ) ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。(30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- サブウーファー調節メニューは、サブウーファー設定メニューの設定がONのときだけ選べます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。



ご注意

- リアスピーカー出力設定 (☞ 初期設定 ⑦ 130 ページ) を、「REAR SP :SUB WJ」にしたときは、「FADER」は調節できません。

1 音量バランス調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、「FADER」を選ぶ

2 音量バランスを調節する

ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

■ 前後を調節するとき

前を強める：上に操作する

後ろを強める：下に操作する

F15～R15の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：右に操作する

左を強める：左に操作する

L15～R15の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。



ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、イコライザーカーブを選べません。

1 イコライザーカーブを選ぶ

EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FLAT
↓
SUPER BASS
↓
POWERFUL
↓
NATURAL
↓
VOCAL
↓
CUSTOM
↓
FLATに戻る



メモ

- 「CUSTOM」には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されます。
- 「FLAT」では、イコライザーによる音の補正は行いません。他のイコライザーカーブの効果を確認するときに使用すると便利です。
- イコライザー選択メニュー (P.EQ) で、イコライザーカーブを選ぶこともできます。

音の調節
4イコライザーカーブ
を大まかに補正する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの簡単な補正ができます。



メモ

- 調節した内容はCUSTOM に登録されます。

1 調節するイコライザーカーブ
を選ぶ

(音の調節 ⑧ 87ページ)

2 イコライザー調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、イコライザー調節を選ぶ

イコライザーの音域とレベル（例：EQ-LOW :0）が表示されます。

3 調節する音域を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する
EQ-LOW（低音域）、EQ-MID（中音域）、
EQ-HI（高音域）の中から選ぶことができます。

4 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する
レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する
+6～-6の範囲で調節できます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

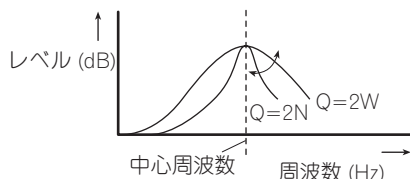
音の調節
5イコライザーカーブ
を細かく調節する

イコライザーカーブの高音、中音、低音それぞれに細かな修正を加えることで、お好みの音を再現した独自のイコライザーカーブを作り出すことができます。



イコライザーカーブについて

- イコライザーカーブは、レベル・中心周波数・Qファクター（傾き）の3つの要素を調節して決定します。イコライザーカーブのイメージは、下図のようになります。



イコライザーカーブの調節に、決まったルールはありません。音を聞きながら微調節を加えて、お好みの音質に調節してください。調節したイコライザーカーブは、自動的にCUSTOMカーブに登録されます。

1 調節する音域を選ぶ

(音の調節 ④)

2 3バンドパラメトリック
イコライザーにする

ロータリーコマンドーを操作して、3
バンドパラメトリックイコライザーを
選ぶ

イコライザーの音域と中心周波数、Qファクター（例：EQ-LOW 100HZ Q2W）が表示されます。

3 バンドパラメトリックイコライザー

3 選んだ音域の音の中心になる周波数を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

高い周波数を選ぶとき：右に操作する

低い周波数を選ぶとき：左に操作する

選べる周波数は、音域によって異なります。

EQ-LOW：40Hz、80Hz、100Hz、160Hz

EQ-MID：200Hz、500Hz、1KHz、2KHz

EQ-HI：3KHz、8KHz、10KHz、12KHz

4 選んだ音域のQファクター（傾き）を調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

傾きを強めるとき：上に操作する

傾きを弱めるとき：下に操作する

2W、1W、1N、2Nの中から選ぶことができます。



Qファクターについて

- Qファクターは、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きが緩やかになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

1 ラウドネスにする

ロータリーコマンドーを操作して、「LOUDNESS」を選ぶ

2 ラウドネスをONにする

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、OFFになります。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

LOW（弱）、MID（中）、HIGH（強）の中から選べます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

サブウーファーを使う

本機は、リアスピーカー端子または、RCA出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、以下の2ステップで行います。

- ① サブウーファーのON/OFFと位相切り換え
- ② サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

「サブウーファーの設定について」(※ はじめに ⑨ 20 ページ) を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。



ご注意

- RCA出力設定 (※ 初期設定 ④ 130 ページ) をPREOUT :REARにしたときは、サブウーファーの調節はできません。
- サブウーファーのON/OFFと位相切り換え (※ 音の調節 ⑧) で、サブウーファーをOFFにした場合は、サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 (※ 音の調節 ⑨) は操作できません。

サブウーファーのON/OFFと位相切り換え

サブウーファー

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーの設定をONにする必要があります。

ONにしたあと、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。



位相切り換えとは

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。
 正相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される
 逆相：サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 サブウーファーON/OFFと位相切り換えにする

ロータリーコマンドーを操作して、「SUB W1」を選ぶ

2 サブウーファーをONにする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFFになります。

3 サブウーファーの位相を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する
 正相(NORMAL)を選ぶとき：右に操作する
 逆相(REV)を選ぶとき：左に操作する

4 ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す

サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファー調節

サブウーファーから出力される音域と出力レベルを設定します。他のスピーカーとのつながりが自然になるように設定してください。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファーのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 サブウーファー調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SUB W2」を選ぶ

2 カットオフ周波数を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

高い周波数を選ぶとき：右に操作する

低い周波数を選ぶとき：左に操作する

50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzの中から選べます。

3 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを大きくするとき：上に操作する

レベルを小さくするとき：下に操作する

−24～+6の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

低い音を出力しないようにする

ハイパスフィルター

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。

フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にすることができます。



ハイパスフィルター（HPF）とは

- ハイパスフィルター（HPF）は、設定した周波数（カットオフ周波数）から下の音域（低音域）をカットして、高音域を通すフィルターです。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも下の周波数（もしくは上の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。

1 ハイパスフィルターにする

ロータリーコマンドーを操作して、「HPF」を選ぶ

2 ハイパスフィルターをONにする

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、OFF になります。

3 カットオフ周波数を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

高い周波数を選ぶとき：右に操作する

低い周波数を選ぶとき：左に操作する

50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzの中から選べます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

音の調節
11

低い音を強調する

バスブースター

低音域を強調させることができます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 バスブースターにする

ロータリーコマンドーを操作して、「BASS BOOST」を選ぶ

2 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する
レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する
0～6の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- サブウーファー設定のON / OFF によって、ブーストされる音域は、次の周波数以下になります。
サブウーファー設定がONの場合：
サブウーファーのカットオフ周波数に連動
サブウーファー設定がOFFの場合：
100 Hz固定

音の調節
12各ソースの音量を
そろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

1 ソース レベル アジャスター
にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SLA」を選ぶ

2 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する
レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する
-4～+4の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- AMと交通情報、DVDビデオとDVD-VR、DivXとCD / WMA / MP3 / AAC、およびEXTERNAL1とEXTERNAL2は同じ設定になります。

本機に「DEQ-P9」を接続している場合

ここでは、本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続している場合の「別売DSP」の機能について説明しています。本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。



別売のモニターを接続したとき

- 音の調節（別売DSP）で説明している機能の設定画面は、別売のモニターにも表示されます。本書では、本体のディスプレイとボタンを使った操作を説明しています。

(画面例)



別売DSP

1

オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、お好みに合わせてきめ細かく調節することができます。

手軽に心地よい音場を演出する

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場を手軽に演出できます。

- イコライザーカーブを選ぶ
- リスニングポジションを選ぶ (POSITION)
- ダイナミックレンジコントロールを使う (DRC)
- オートタイムアライメント&イコライジングを行う (オート TA & EQ)

きめ細かくお好みに合わせて調節する

次の順に設定や調節することで、きめ細かく好みの音場を作り出すことができます。

- 接続したスピーカーの設定をする
- リスニングポジションを選ぶ (POSITION)
- タイムアライメントを調節する (TA)
- テストトーンでスピーカーレベルを調節する (TEST TONE)
- クロスオーバー周波数を設定する (HPF)
- スピーカーレベルを調節する
- 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する (PEQ-2)

便利な機能

次の機能は、お好みや設定に合わせてお使いください。

- ドルビープロロジックIIを使う (PL II)
- SFCで音場を再現する (SFC)
- ダウンミックス機能を使う (DOWN MIX)
- オリジナルの音質で聞く (DIRECT)

オーディオ調節メニューの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節メニューを切り換えて操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 オーディオ調整メニューにする

ロータリーコマンドを回して「AUDIO」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

FADER (BALANCE) (音量バランス調節)
(別売 DSP ③ 96 ページ)

POSITION (リスニングポジション)
(別売 DSP ④ 97 ページ)

PL II (ドルビープロロジックII)
(別売 DSP ⑤ 98 ページ)

PANORAMA
(ドルビープロロジックII ミュージック)
(別売 DSP ⑥ 99 ページ)

SFC (サウンドフィールドコントロール)
(別売 DSP ⑦ 100 ページ)

DOWN MIX (ダウンミックス)
(別売 DSP ⑧ 101 ページ)

DRC (ダイナミックレンジコントロール)
(別売 DSP ⑨ 101 ページ)

DIRECT (ダイレクト)
(別売 DSP ⑩ 102 ページ)

SLA (SLA)
(別売 DSP ⑪ 102 ページ)

AUTO EQ (オートイコライザー)
(別売 DSP ⑫ 103 ページ)

FRONT (スピーカー設定)
(別売 DSP ⑬ 107 ページ)

HPF (クロスオーバー周波数)
(別売 DSP ⑭ 109 ページ)

FRONT-LEFT (スピーカーレベル調節)
(別売 DSP ⑮ 110 ページ)

TEST TONE (テストトーン)
(別売 DSP ⑯ 111 ページ)

TA (タイムアライメント選択)
(別売 DSP ⑰ 112 ページ)

FRONT-L (タイムアライメント調節)
(別売 DSP ⑱ 113 ページ)

PEQ-2 (3バンドパラメトリックイコライザー)
(別売 DSP ㉔ 114 ページ)

FADER (BALANCE) に戻る

4 オーディオ調節メニューを解除する

BAND ボタンを押す

次のページへ続く

**知っていると便利**

- リモコンの **[LHSC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

**メモ**

- オーディオ調節メニューは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、テストトーン (TEST TONE) や3バンドパラメトリックイコライザー (PEQ-2) を選んでいる場合、自動では解除されません。
- DVDディスクを再生しているとき以外は、ダイナミックレンジコントロール (DRC) には切り換わりません。
- ダイレクトがONの間は、音量調節 (VOLUME とATT) とドルビープロロジックIIのみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。
- オート TA & EQ (別売DSP 別売DSP 105ページ) を行っていないと、オートイコライザー (AUTO EQ)に切り換えたとき、「SET AUTO EQ」と表示されます。
- リスニングポジションで「FRONT-L」か「FRONT-R」を選んでいないと、タイムアライメント調節 (TA) に切り換えたとき、「CHECK POSITION」と表示されます。

前後左右の音量バランスを調節する**フェーダー/バランス**

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1

音量バランス調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、「**FADER**」を選ぶ

2

音量バランスを調節する

ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

■ 前後を調節するとき

前を強める：上に操作する
後を強める：下に操作する
F25～R25の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：右に操作する
左を強める：左に操作する
L25～R25の範囲で調節できます。

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。



リスニングポジションとは

- リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを自動的に調節する機能です。SFC機能と組み合わせることで、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。（45 別売 DSP ⑦ 100ページ）



設定の内容

FRONT-R :

右ハンドルに運転者のみがいるとき

FRONT-L :

左ハンドルに運転者のみがいるとき

FRONT :

同乗者が助手席にいるとき

ALL :

同乗者が後部座席にいるとき

1

リスニングポジションにする

ロータリーコマンダーを操作して、「POSITION」を選ぶ

2

乗車位置を選ぶ

ロータリーコマンダーを上下左右に操作する

ロータリーコマンダーを同じ方向に操作するとON/OFFします。

FRONT-R (Front Right) : 右に操作する

FRONT-L (Front Left) : 左に操作する

FRONT (Front Seat) : 上に操作する

ALL (All Seat) : 下に操作する

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

ドルビープロロジックIIを使う

ドルビープロロジックII

2チャンネルの音声を5チャンネルに拡張して再生することができます。オリジナル録音の空間情報から、より立体的なサラウンド空間を作り出す機能です。音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しむことができます。



ドルビープロロジックIIのON/OFF

- 2チャンネルの音声中で5.1チャンネルに適したSFC (MUSICAL、DRAMA、ACTION) を選んだ場合、ドルビープロロジックIIをONにすることをおすすめします。また、2チャンネルに適したSFC (JAZZ、HALL、CLUB) を選んだ場合、ドルビープロロジックIIをOFFにすることをおすすめします。



設定の内容

ムービー：

映画やTVドラマなどのステレオ音声を、5.1チャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

ミュージック：

広く深い音場を表現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。

ミュージックモードのパラメーターを調節することで、好みに合わせた空間表現を得ることができます。(別売DSP ⑥)

マトリックス：

方向性強調回路がオフになるため、シンブルなサラウンド再生になります。FMやTVなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

OFF：

ドルビープロロジックIIをOFFにします。



ドルビープロロジックIIにする

ロータリーコマンドーを操作して、「PL II」を選ぶ



好みのモードを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する操作するごとに、次のように切り換わります。

OFF
↓
MOVIE (ムービー)
↓
MUSIC (ミュージック)
↓
MATRIX (マトリックス)
↓
OFFに戻る



ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- スピーカー設定モード (別売DSP ⑩ 107 ページ) で、センタースピーカーとリアスピーカーがOFFに設定されているときは、ドルビープロロジックIIモードには切り換わりません。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックIIをONにすると、次のような現象が起こることがあります。
 - * センタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にしている場合、センタースピーカーだけから音が出ることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出されることがあります。
- ドルビープロロジックIIは、48kHzまでのサンプリング周波数で動作します。

ミュージックモードを調節する

ドルビープロロジックII ミュージック

ドルビープロロジックIIのミュージックモードでは、パラメーター(パノラマ、ディメンション、センター幅)を調節することができます。



ご注意

- ドルビープロロジックIIでMUSICを選んだときだけ、ドルビープロロジックIIミュージックモードに切り換わります。(※別売DSP⑤)



設定の内容

パノラマ：

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して、包み込みの効果を大きくします。

ディメンション：

広音場の位置をフロント側、リア側に細かく調節します。-3~+3の間で調節します。+はフロント側に、-はリア(サラウンド)側に音を移動します。

センター幅：

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーにどのように振り分けるかを「0」~「7」の間で設定します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0は、センタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

1 ドルビープロロジックII ミュージックモードにする

ロータリーコマンドーを操作して、「PANORAMA」を選ぶ

2

調節したいパラメーターを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

操作するごとに、次のように切り換わります。

PANORAMA (パノラマ)



DIMENSION (ディメンション)



CENTER (センター幅)



PANORAMAに戻る

3

選んだパラメーターを調節する

■ パノラマをON/OFFする

ロータリーコマンドーを上下に操作する

操作するごとにON/OFFします。

■ ディメンションを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

-3~+3の範囲で調節できます。

■ センター幅を調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

0~7の範囲で調節できます。

4

ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す

SFCで音場を再現する

SFCでは、実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。



メモ

- 演奏会場は、会場ごとに独特の雰囲気があります。これは、会場の広さや形状、残響特性が異なるため、直接音・初期反射音・残響音の長さや質が変化するためです。SFCには、このようなことを考慮した音場空間プログラムが設定されています。



設定の内容

MUSICAL

音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生を楽しむのに適しています。

DRAMA

リアスピーカーの音と一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサラウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画を楽しむのに適しています。

ACTION

躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画を楽しむのに適しています。

JAZZ

ジャズクラブでの音場を再現します。ライブ録音の音声などを楽しむのに適しています。

HALL

コンサートホールの音場を再現します。残響音豊かな響きでクラシック音楽などを楽しむのに適しています。

CLUB

クラブの音場を再現します。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに適しています。



SFCにする

EQ ボタンを長く押す

SFCの現在の設定が表示されます。



音場プログラムを選ぶ

SFCの設定が表示されている間にEQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

OFF



MUSICAL



DRAMA



ACTION



JAZZ



HALL



CLUB



OFFに戻る



メモ

- サウンドフィールドコントロールメニュー (SFC) で、音場プログラムを選ぶこともできます。

ダウンミックス機能を使う

ダウンミックス

ダウンミックスとは、5.1チャンネルの音声を2チャンネル音声に変換する機能のことです。チャンネル数を落として、音声をDVDフォーマットの中で定められた一定基準に従って混合し、再生します。センタースピーカーやサブウーファーを持たないシステムでも、5.1チャンネルの音場感を再現できます。



設定の内容

Lo/Ro

オリジナルの音声、サラウンド成分のような音声チャンネルを含まない場合を選択します。オリジナルの音声を2チャンネル音声に変換して再生します。

Lt/Rt

オリジナルの音声、サラウンド成分を含んでいるときに選択します。サラウンド成分を復元（デコード）できるように、2チャンネル音声に変換して再生します。

1 ダウンミックスにする

ロータリーコマンドを操作して、「DOWN MIX」を選ぶ

2 ダウンミックスの設定を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する
操作するごとに、「Lo/Ro」と「Lt/Rt」が切り換わります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

ダイナミックレンジコントロールを使う

DRC

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールをONにすると、この幅が圧縮され、音量を下げた楽しむ場合にも小さな音を聞き取りやすくすることができます。



ご注意

- DVDを再生しているとき以外は、ダイナミックレンジコントロールには切り換わりません。

1 ダイナミックレンジコントロールにする

ロータリーコマンドを操作して、「DRC」を選ぶ

2 ダイナミックレンジコントロールをONにする

ロータリーコマンドを上にも操作する
下にも操作すると、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

別売DSP

10

オリジナルの音質で
聞く

ダイレクト

各種オーディオの設定を一時的に無効にすることができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。



ご注意

- ダイレクトがONの間は、音量調節（VOLUMEとATT）とドルビープロロジックIIのみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- 2チャンネルのリニアPCMまたは2チャンネルのドルビーデジタル音声では、フロントスピーカー（左右）以外からは、音声が出力されません。

1 ダイレクトにする

ロータリーコマンドーを操作して、「DIRECT」を選ぶ

2 ダイレクトをONにする

ロータリーコマンドーを上にも操作する
下に操作すると、OFFになります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

別売DSP

11

各ソースの音量の
違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。
- ダイレクトの設定がONのときは、SLAには切り換わりません。（別売DSP 10）

1 ソースレベルアジャスター
にする

ロータリーコマンドーを操作して、「SLA」を選ぶ

2 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上にも操作する
レベルを大きくするとき：上にも操作する
レベルを小さくするとき：下にも操作する
-4～+4の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- AMと交通情報、DVDビデオとDVD-VR、DivXとCD/WMA/MP3/AAC、およびEXTERNAL1とEXTERNAL2は同じ設定になります。

オートイコライザー を ON / OFF する

オートイコライザー

オート TA & EQ (別売 DSP ⑩ 105 ページ) で作成したオートイコライザーカーブを ON / OFF することができます。



ご注意

- オート TA & EQ (別売 DSP ⑩ 105 ページ) を行っていないと、オートイコライザー (AUTO EQ) に切り換えたとき、「SET AUTO EQ」と表示され、オートイコライザーの操作はできません。

1 オートイコライザーにする

ロータリーコマンドーを操作して、「AUTO EQ」を選ぶ

2 オートイコライザーを ON にする

ロータリーコマンドーを上にも操作すると、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

オートタイムアライメント & イコライジングを行う前に

オート TA & EQ



音響特性の最適な自動補正とは

車内空間には、その形状や材質、スピーカーの取付位置、聞く位置など、さまざまな制約があります。このため、ホームオーディオに比べて音響特性が大きく乱れています。この乱れを補正するには一般的に、イコライザーなどを使用します。また、音響特性を最適にする場合は、音響測定器などの道具や音質調節の熟練した技術が必要です。

音響特性を最適に自動補正するために、本機はオート TASEQ 設定という機能を備えています。

オート TASEQ 設定を使うと、音響特性測定用マイクを所定の位置に取り付けるだけで、複雑で難しい音響調節を「DEQ-P9」が自動で行います。

オート TASEQ 設定のうち、車室内の音響特性を乱れが少なく滑らかな状態に最適化するのがオート EQ です。また、各スピーカーから乗車位置までの距離を測定し、音声の到達時間を補正するのがオート TA です。オート TA とオート EQ によって、それぞれの車にとって最良の音響特性を手軽に実現できます。



警告

走行中にオート TASEQ 設定を行わない



自動車が行進中にオート TASEQ 設定を行わないでください。オート TASEQ 設定は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

次のページへ続く

スピーカーの破損を防止するために

次の状態でオート TA&EQ 設定を行うと、スピーカーが破損することがあります。オート TA&EQ 設定を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている。
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している。

オート TA&EQ 設定前に必ず行うこと

オート TA & EQ 設定を効果的に行うために、いくつかの準備が必要です。以下を参照して、正しく準備してください。

- なるべく静かな場所に車を停車する。
- 車のエンジン／エアコン／ヒーターをOFFにする。エアコンやヒーターのファンの騒音によって、オート TA & EQ 設定が実行できないことがあります。
- 携帯電話や車載電話の電源を切る。または、車の外に持ち出す。
- 「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを用意する。それ以外のマイクでは、音響特性が正しく測定されません。
- フロントスピーカーを接続する。
- フロントスピーカーのミュートを解除する。
- リスニングポジション (POSITION) を設定する。(別売 DSP ④ 97ページ) リスニングポジションをFRONT-R (Front Right) またはFRONT-L (Front Left) 以外に設定したときは、オート TA & EQ 設定を始めると強制的にFRONT-R (Front Right) に設定されます。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合は、入力レベルを推奨位置に合わせる。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合は、ローパスフィルターをOFFにする。
- ローパスフィルター付きのパワードサブウーファーを接続している場合は、ローパスフィルターのカットオフ周波数を最も高い値に設定する。

オート TA & EQ 設定で変更される設定

- オート TA & EQ 設定を行うと、オーディオの設定が次のように変更されます。
 - ・FADER (BALANCE) (別売 DSP ③ 96ページ)：初期設定に戻る。
 - ・イコライザーカーブ (別売 DSP ②③ 114ページ)：FLAT に設定される。
 - ・POSITION (別売 DSP ④ 97ページ)：FRONT-R (Front Right) に設定される。(FRONT-L (Front Left) に設定していた場合は、FRONT-L (Front Left) のまま)

ご注意

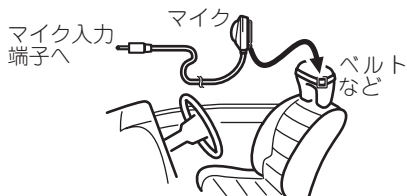
- 再度オート TA & EQ 設定を行うと、前回の調節内容は消去されます。
- オート TA & EQ 設定で測定されたタイムアライメントの値は、コンピューターが算出した正確な遅延時間に基づくものです。次のような場合に実際の距離と異なることがあります。そのままご使用ください。
 - ・車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている。
 - ・パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている。

1 計測する環境を整える

- 静かな所に車を停車させる。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉める。
- 車のエンジンを停止させる。
- エアコンやヒーターをOFFにする。

2 「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定する



📌 ご注意

- マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がるおそれがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

📌 ご注意

- 車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートTA & EQが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCE ボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションを選び、マイクをセットした座席を乗車位置に設定する (別売DSP ④ 97ページ)

📝 メモ

- 乗車位置を「FRONT-R」または「FRONT-L」以外に設定したときは、オートTA & EQを始めると、強制的に「FRONT-R」に再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCE ボタンを長く押す

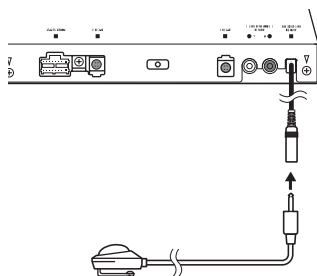
7 オートTA & EQ設定モードにする

EQ ボタンを長く押す

次のページへ続く

8 マイクを「DEQ-P9」に接続する

「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを音響特性測定用マイク入力端子に接続する



メモ

- オート TA & EQ を始めてから測定が終了するまでに、約8分かかります。測定時間は周囲の騒音状態、車両形状、スピーカーの数などにより変わります。
- 音響特性測定用マイク入力端子にマイクがしっかりと挿入されていない状態でオート TA & EQ を行うと、エラーが生じます。マイクを確実に挿入してから、オート TA & EQ を行ってください。

9 オート TA & EQ を開始する

ロータリーコマンドーを押す

もう一度押すと、途中解除します。

10 車の外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉める

計測音（ノイズ）が各スピーカーから出力され、オート TA & EQ が始まります。

11 オート TA & EQ が自動的に終了する

オート TA & EQ が終わったら、セットした音響特性測定用マイクを取り外してください。

12 オート TA & EQ 設定モードを終了する

BAND ボタンを押す



メモ

- オート TA & EQ を途中でやめたいときは、BAND ボタンを押すと、強制的に解除することができます。
- マイクをセットする位置により、オート TA & EQ の調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに入れて、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になるおそれがあります。

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定できます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。



スピーカーサイズについて

- スピーカーサイズの設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。スピーカーの再生周波数帯域については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。
- オート TA & EQを行うときは、スピーカーの設定はON/OFFだけ行ってください。

1 スピーカー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、「FRONT」を選ぶ

2 設定したいスピーカーを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する操作することにより、次のように切り換わります。

FRONT（フロントスピーカー）



CENTER（センタースピーカー）



REAR（リアスピーカー）



SUB WOOFER（サブウーファー）



PHASE（サブウーファー位相切り換え）

3 スピーカーの有無やサイズを設定する

ロータリーコマンドーを上下に操作する各スピーカーの設定は、次の中から選ぶことができます。

フロント

SMALL / LARGE

リア・センター

OFF / SMALL / LARGE

サブウーファー

ON / OFF

サブウーファー位相切り換え

(別売 DSP 108 ページ)

NORMAL / REVERSE

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



メモ

- 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合は、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力のある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリアの両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックIIをONにすると、次のような現象が起こることがあります。
 - * センタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にしている場合、センタースピーカーだけから音が出力されることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出力されないことがあります。
 - * サブウーファーを「OFF」にすると、サブウーファー位相切り換えは選択できません。

別売DSP

16

サブウーファアの位相を切り換える

サブウーファア

サブウーファアからの低音域の出力を調節しても低音域がよく聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。



ご注意

- サブウーファアをOFFにすると、サブウーファア位相切り換えは選択できません。

(※ 別売DSP ⑩ 107ページ)

1

スピーカー設定にしてサブウーファアの位相切り換えを選ぶ

(※ 別売DSP ⑩ 107ページ)

2

サブウーファアの位相を選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

NORMAL (正相) : 上に操作する

REVERSE (逆相) : 下に操作する

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

クロスオーバー周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、音量が抑えられた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。

サブウーファーを接続していない場合、音量が抑えられた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。



ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す



ご注意

- スピーカー設定 (別売DSP 107ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 クロスオーバー周波数にする

ロータリーコマンダーを操作して、「HPF」を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ

ロータリーコマンダーを左右に操作する

操作することにより、次のように切り換わります。

FRONT (フロントスピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



REAR (リアスピーカー)



SUB.W (サブウーファー)

3 クロスオーバー周波数を選ぶ

ロータリーコマンダーを上下に操作する

63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

スピーカーレベルを調節する

テストトーンで行った各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。



ご注意

- スピーカー設定 (別売DSP 107ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 スピーカーレベル調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、「FRONT-LEFT」を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

操作するごとに、次のように切り換わります。

FRONT-LEFT (フロント左スピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



FRONT-RIGHT (フロント右スピーカー)



REAR-RIGHT (リア右スピーカー)



REAR-LEFT (リア左スピーカー)



SUB WOOFER (サブウーファー)

3 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する

−10～+10の範囲で調節できます。



ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す



メモ

- ここで調節した出力レベルは、テストトーン (別売DSP 10) で調節したレベルと同じ値になります。

テストトーンでスピーカーレベルを調節する

テストトーン

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

1 テストトーンにする

ロータリーコマンドーを操作して、「TEST TONE」を選ぶ

2 テストトーン出力を開始する

ロータリーコマンドーを右に操作する

約2秒ずつ、次の順で切り換わります。

FRONT-LEFT (フロント左スピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



FRONT-RIGHT (フロント右スピーカー)



REAR-RIGHT (リア右スピーカー)



REAR-LEFT (リア左スピーカー)



SUB WOOFER (サブウーファー)



FRONT-LEFTに戻る

3 レベル調節をする

ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する
-10～+10の範囲で調節できます。

4 テストトーン出力を停止する

ロータリーコマンドーを左に操作する

5 ふだんの再生画面に戻る

BAND ボタンを押す



メモ

- この操作で調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節 (別売 DSP ⑩) で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定 (別売 DSP ⑩ 107ページ) で「OFF」に設定したスピーカーには切り換わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り換わりません。

別売DSP

20

タイムアライメントを選ぶ

タイムアライメント

好みのタイムアライメントを選ぶことができます。



タイムアライメントとは

- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。



設定の内容

INITIAL

初期設定状態（ご購入直後の状態）

CUSTOM

お好みに合わせて調節したタイムアライメント

AUTO TA

オート TA & EQ で調節したタイムアライメント

OFF

タイムアライメントを OFF にします



ご注意

- オート TA & EQ (別売 DSP 105 ページ) を行っていないと、「AUTO TA」を選んだとき、「SET AUTO TA」と表示されます。

1

タイムアライメントを選ぶ

ロータリーコマンドーを操作して、「TA」を選ぶ

2

タイムアライメントを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

操作することにより、次のように切り換わります。

INITIAL



CUSTOM



AUTO TA



OFF

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。リスニングポジション (※ 別売 DSP ④ 97ページ) を設定することで自動的に設定されますが、タイムアライメントではさらに厳密な調節をすることができます。



ご注意

- タイムアライメント (TA) で「OFF」を選んでいるときは、タイムアライメント調節には切り換わりません。
- スピーカー設定 (※ 別売 DSP ⑥ 107ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。
- リスニングポジションで「FRONT-R」か「FRONT-L」を選んでいないと、「CHECK POSITION」と表示されます。

1

調節するタイムアライメントを選ぶ

(※ 別売 DSP ⑩)

2

タイムアライメント調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、「FRONT-L」を選ぶ

3

各スピーカーの距離を調節する

■ 調節するスピーカーを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する

操作するごとに、次のように切り換わります。

FRONT-L (フロント左スピーカー)



CENTER (センタースピーカー)



FRONT-R (フロント右スピーカー)



REAR-R (リア右スピーカー)



REAR-L (リア左スピーカー)



SUB WOOFER (サブウーファー)

■ 距離を調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

距離を遠くするとき：上に操作する

距離を近くするとき：下に操作する

0.0 cm ~ 500.0 cm の範囲で調節できます。

4

ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

別売DSP
22

イコライザーカーブ を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。



CUSTOM1 とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(内蔵DVDとマルチCD、エクスターナルユニット1と2は、同じ設定になります。)
「CUSTOM2」以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に「CUSTOM1」に登録されます。



CUSTOM2 とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。「CUSTOM2」を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。



FLAT とは

- イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1 イコライザーカーブを選ぶ

EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

POWERFUL
↓
NATURAL
↓
VOCAL
↓
FLAT
↓
CUSTOM1
↓
CUSTOM2
↓
SUPER BASS
↓
POWERFULに戻る

別売DSP
23

3バンドパラメトリック イコライザーを調節する

「CUSTOM1」と「CUSTOM2」はフロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節することができます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えを行うことができます。



イコライザーの調節について

- センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声（CDなど）を再生し、センターを除くすべてのスピーカーのバランスを調節したあと、5.1チャンネルの音声（ドルビーデジタルやDTS）を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節するとスムーズに行うことができます。



中心周波数について

- 各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。



ご注意

- スピーカー設定 (別売DSP 107ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 3バンドパラメトリックイコライザーにする

ロータリーコマンドーを操作して、「PEQ-2」を選ぶ

2 スピーカー選択モードを選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する操作するごとに、次のように切り換わります。

スピーカー選択モード
↓
バンド選択モード
↓
中心周波数選択モード
↓
レベル調節モード
↓
カーブの傾き選択モード

3 スピーカーを選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する
FRONT（フロント）、CENTER（センター）、
REAR（リア）の中から選ぶことができます。

4 バンドを選ぶ

ロータリーコマンドを右に操作してから、上下に操作する
LOW（低音）、MID（中音）、HI（高音）の中から選ぶことができます。

5 中心周波数を選ぶ

ロータリーコマンドを右に操作してから、上下に操作する

高い周波数を選ぶとき：上に操作する
低い周波数を選ぶとき：下に操作する

40、50、63、80、100、125、160、200、
250、315、400、500、630、800、1k、
1.25k、1.6k、2k、2.5k、3.15k、4k、5k、
6.3k、8k、10k、12.5k（Hz）の中から選ぶ
ことができます。

6 レベルを調節する

ロータリーコマンドを右に操作してから、上下に操作する

強めるとき：上に操作する
弱めるとき：下に操作する

−6〜+6の範囲で調節できます。

7 カーブの傾きを選ぶ

ロータリーコマンドを右に操作してから、上下に操作する

WIDE : 上に操作する
NARROW : 下に操作する

8 手順2〜7を繰り返して、各スピーカーの各バンドを同様に調節する

9 ふだんの再生画面に戻す

BAND ボタンを押す

DVD設定メニューの切り換えかた

音声、字幕、視聴制限など内蔵DVDの設定を変更することができます。



ご注意

- DVD設定はリモコンのみで行うことができます。リモコンの操作モードはDVDモードに設定してください。(※ はじめに ⑤ 16 ページ)

1

ソースをDVD (内蔵DVD) に切り換える

SOURCE ボタンを押す

2

ディスクの再生を停止する

□ ボタンを押す

3

DVD設定メニューにする

(MENU) ボタンを押す



知っていると便利

- 設定画面の表示中に (RETURN) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面、設定画面の表示中に (MENU) ボタンを押すと、再生停止の状態に戻ります。

4

初期設定メニューを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

ジョイスティックを上下に操作すること、次の順序でメニューが切り換わります。

SUBTITLE LANGUAGE (基本字幕)

(※ DVD設定 ②)



AUDIO LANGUAGE (基本音声)

(※ DVD設定 ③ 118 ページ)



MENU LANGUAGE (メニュー言語)

(※ DVD設定 ④ 118 ページ)



ASSIST (アシスト字幕)

(※ DVD設定 ⑤ 119 ページ)



ANGLE (マルチアングルマーク表示)

(※ DVD設定 ⑥ 119 ページ)



TV ASPECT (画面の縦横比)

(※ DVD設定 ⑦ 120 ページ)



PARENTAL (視聴制限)

(※ DVD設定 ⑧ 121 ページ)



DIVX VOD (DivX VODの登録コード表示)

(※ DVD設定 ⑨ 122 ページ)



DIVX SUBTITLE (DivXのカスタム字幕ファイル表示)

(※ DVD設定 ⑩ 123 ページ)



DIGITAL OUTPUT (光デジタル出力設定)

(※ DVD設定 ⑪ 123 ページ)

5

選んだメニューの設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

基本字幕を設定する

字幕として優先したい言語を設定することができます。

1 基本字幕の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「SUBTITLE LANGUAGE」を選ぶ

2 基本字幕の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 設定する言語を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

ジョイスティックを左右に操作することにより、次のように切り換わります。

JAPANESE (日本語)



ENGLISH (英語)



FRENCH (フランス語)



SPANISH (スペイン語)



GERMAN (ドイツ語)



ITALIAN (イタリア語)



CHINESE (中国語)



PORTUGUESE (ポルトガル語)



DUTCH (オランダ語)



KOREAN (韓国語)



THAI (タイ語)



RUSSIAN (ロシア語)



OTHERS (その他)



JAPANESEに戻る

OTHERS (その他) を選んだとき

OTHERS (その他) を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(※ その他 ⑦ 147ページ)を参照して、4桁の言語コードを①～④ボタンで入力し、ジョイスティックを右に操作してください。⑤ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

4 選んだ言語を設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- (字幕) ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます。(※ 内蔵 DVD ⑩ 40ページ)
- (字幕) ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

DVD設定

3

基本音声を設定する

基本音声

音声として優先したい言語を設定することができます。

1 基本音声の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「AUDIO LANGUAGE」を選ぶ

2 基本音声の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する (DVD設定 ② 117ページ)



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- (音声) で、再生中に音声言語を切り換えることもできます。(内蔵DVD ① 39ページ)
- (音声) で音声言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

DVD設定

4

メニュー言語を設定する

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

1 メニュー言語の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「MENU LANGUAGE」を選ぶ

2 メニュー言語の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する (DVD設定 ② 117ページ)



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

アシスト字幕を設定する

アシスト字幕

アシスト字幕のON/OFFを設定することができます。



アシスト字幕とは

- アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために、場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕はDVDに収録されている場合のみ表示することができます。

1 アシスト字幕の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「ASSIST」を選ぶ

2 アシスト字幕の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する

操作するごとに、ON/OFFが切り換わります。

4 ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す

マルチアングルマーク表示を設定する

マルチアングル

複数のアングルが収録されたディスクで、アングルが切り換えできる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示することができます。

1 マルチアングルマーク表示の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「ANGLE」を選ぶ

2 マルチアングルマーク表示の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する

操作するごとに、ON/OFFが切り換わります。

4 ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す

画面の縦横比を設定する

画面の表示比率を設定します。ディスクに収録された映像（画像）の比率に合わせて設定します。



設定の内容

16 : 9

ワイドモニターに最適な設定です。

レターボックス

上下に黒い帯のある画面になります。通常、4 : 3のモニターで使用します。

パンスキャン

左右の切れた画面になります。通常、4 : 3のモニターで使用します。

1

画面の縦横比の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「TV ASPECT」を選ぶ

2

画面の縦横比の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3

表示比率を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

操作するごとに、次のように切り換わります。

16 : 9



LETTER BOX（レターボックス）



PAN SCAN（パンスキャン）



16 : 9に戻る

4

表示比率を設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivXファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。



視聴制限レベルの目安

レベル8

すべてのディスクを再生します。

レベル7～2

成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。

レベル1

子供向けディスクのみ再生します。



メモ

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1

視聴制限の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「PARENTAL」を選ぶ

2

視聴制限の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

「EDIT CODE」と表示されます。

3

暗証番号を入力する

■ 数字を入力するとき

①～⑨ ボタンを押す

■ カーソルを移動するとき

ジョイスティックを左右に操作する

■ 入力した数字を消すとき

◎ ボタンを押す

4

暗証番号を設定する

カーソルを4桁目に移動して、ジョイスティックを右に操作する



メモ

- 4桁すべてに数字が入力されていないと、ふたたび番号入力画面に戻ります。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

5

レベルを選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

レベルを大きくするとき：右に操作する

レベルを小さくするとき：左に操作する

6

レベルを設定する

ジョイスティックを押す

次のページへ続く

レベルを変更する

1 視聴制限の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「PARENTAL」を選ぶ

2 視聴制限の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す
「INPUT CODE」と表示されます。

3 暗証番号を入力し、レベルを設定する

「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作でレベルを設定する。

(15 DVD設定 ④ 121ページ)

暗証番号を忘れたとき

「レベルを変更する」の手順2で、「INPUT CODE」表示中に◎ボタンを10回押す

「EDIT CODE」と表示が切り換わり、登録した暗証番号が解除されます。「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、新しい暗証番号を入力してください。

DivX VODの登録コードを確認する

DivX VOD ファイルを再生するとき、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video OnDemand」の略です。

1 DivX VODの登録コードを選ぶ

ジョイスティックを操作して、「DIVX VOD」を選ぶ

2 登録コードを表示する

ジョイスティックを押す

DivX VODの登録コードが表示されます。登録コードは8桁の英数字です。

DivXのカスタム字幕
ファイルを表示する

カスタム字幕

DivXファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivXファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。

あらかじめDivXファイルに収録されている字幕を「オリジナル字幕」と呼びます。DivXファイルを作成したあとに追加した字幕を「カスタム字幕」と呼びます。ここでは「カスタム字幕」表示のON/OFFを設定できます。

1 DivXのカスタム字幕ファイル表示の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「DIVX SUBTITLE」を選ぶ

2 DivXのカスタム字幕ファイル表示の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 ON/OFFを切り換える

ジョイスティックを左右に操作する
操作ごとにON/OFFが切り換わります。

4 ON/OFFを設定する

ジョイスティックを押す



メモ

- 本機はファイル形式「.srt」のカスタム字幕に対応しています。
- カスタム字幕は、1行あたり42文字まで対応しています。
- 1画面に一度に表示できる字幕の文字数は8文字までです。

デジタル出力の設定
をする

デジタル出力設定

本機のデジタル出力を設定できます。



メモ

- 「LINEAR PCM」に設定することにより、以下のタイプのディスクを再生する場合、音声の出力方法を切り換えることができます。(※ 内蔵DVD ④ 47ページ)
 - * Dual Monoモードで記録されたDVDビデオディスク
 - * 2カ国語で記録されたDVD VRディスク
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、この設定をする必要はありません。



設定の内容

STREAM

ドルビーデジタルやDTS信号が出力されません。通常はこの設定にしておきます。

LINEAR PCM

ドルビーデジタルやDTS信号をLINEAR PCM信号に変換して出力されます。

1 光デジタル出力の設定を選ぶ

ジョイスティックを操作して、「DIGITAL OUTPUT」を選ぶ

2 光デジタル出力の設定画面を表示する

ジョイスティックを押す

3 出力設定を選ぶ

ジョイスティックを左右に操作する

操作ごとに、「STREAM」と「LINEAR PCM」が切り換わります。

4 出力方法を設定する

ジョイスティックを押す

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調節」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

1 本機の電源をOFFにする

SOURCE ボタンを長く押す

2 初期設定メニューを表示する

ロータリーコマンドーを長く押す

3 使いたい機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

CLOCK (時計調節)

( 初期設定 ②)



WARNING (デタッチワーニング)

( 初期設定 ③)



AUX1 (外部機器設定1)

( 初期設定 ④ 126 ページ)



AUX2 (外部機器設定2)

( 初期設定 ④ 126 ページ)



VIDEO IN (映像入力設定)

( 初期設定 ⑤ 128 ページ)



CAMERA (バックカメラ極性設定)

( 初期設定 ⑥ 129 ページ)



REAR SP (リアスピーカー出力設定)

PREOUT (RCA出力設定)

( 初期設定 ⑦ ⑧ 130 ページ)



EVERSCROLL (連続スクロール設定)

( 初期設定 ⑨ 131 ページ)



D.ATT (デジタルアッテネーター設定)

( 初期設定 ⑩ 131 ページ)



AUDIO RESET (オーディオ設定リセット)


( 初期設定 ⑪ 132 ページ)



CLOCKに戻る



知っていると便利

- リモコンの() ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND ボタンを押します。(初期設定メニューを解除すると、電源がOFFになります。)
- CAMERA (バックカメラ極性設定) は、VIDEO IN (映像入力設定) で「CAMERA (バックカメラ)」に設定してしているときだけ操作できます。
- リアスピーカー出力設定は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときは操作できません。
- D.ATT (デジタルアッテネーター設定) と AUDIO RESET (オーディオ設定リセット) は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

時計を合わせる

時計調節

本機のディスプレイに表示する時計の調節ができます。

1 初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ①)

2 時計調節にする

ロータリーコマンドを回して、「CLOCK」を選ぶ

3 時計を調節する

■ 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドを左右に操作する

時を選ぶ：左に操作する

分を選ぶ：右に操作する

■ 時刻を合わせるとき

ロータリーコマンドを上下に操作する

時刻を進める：上に操作する

時刻を戻す：下に操作する

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

■ 時刻を時報に合わせるとき

ロータリーコマンドを押す

分が“00”になります。

例) 10 : 00 ~ 10 : 29 → 10 : 00

10 : 30 ~ 10 : 59 → 11 : 00

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す


初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

フロントパネルの外し忘れを警告する

デタッチワーニング

デタッチワーニングは、車を離れるときに、フロントパネルの外し忘れを警告ブザーで知らせる機能です。(初期設定では、OFFになっています。)

イグニッションスイッチをOFFにしたときに、フロントパネルを外し忘れていて、4秒後に警告ブザーが鳴ります。

フロントパネルを取り外すには ( はじめに ⑦ 18 ページ)

1 初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ①)

2 デタッチワーニングにする

ロータリーコマンドを回して、「WARNING」を選ぶ

3 デタッチワーニング設定をONにする

ロータリーコマンドを押す

もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

外部機器 (AUX) をソースに設定する

本機にポータブル音楽再生機器やVTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、ソースに設定することができます。

外部機器の接続には、次の3通りがあります。

- ① 付属のAUXケーブルを使用する場合 (AUX1)
- ② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合 (AUX2)
- ③ IP-BUSを使用する場合 (AUX2)
(パイオニア製ナビゲーションユニットのように、IP-BUS出力を持つパイオニア製品を接続する場合)



ご注意

- AUX2は、②と③のどちらか一方の接続方法で使用できます。(両方の接続方法を同時に使用することはできません。)

① 付属のAUXケーブルを使用する場合

本体のAUX入力端子 (φ 3.5 ミニジャック) に接続します。(※ 取付説明書)
この場合、接続した外部機器は、AUX1ソースとして認識されます。

② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合

接続する外部機器にRCA出力がある場合、別売のRCA / IP-BUS インターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用して、本機のIP-BUS入力端子に接続します。接続した外部機器は、AUX2ソースとして認識されます。詳しくは、RCA / IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

③ IP-BUSを使用する場合 (パイオニア製ナビゲーションユニットを接続する場合)

別売のIP-BUSケーブル (例: 「CD-IP600」) を使用して、本機のIP-BUS入力に接続します。接続したナビゲーションユニットはAUX2ソースとして認識され、音声のみが出力されます。



設定の内容

AUDIO :

付属のAUXケーブルを使って、ポータブル音楽再生機器などを接続した場合に設定します。

VIDEO :

付属のAUXケーブルを使って、ポータブル音楽再生機器 (映像再生が可能なもの) などを接続した場合に設定します。

OFF :

使用しない場合に設定します。

1 初期設定メニューを表示する

(**☞** 初期設定 ① 124 ページ)

2 外部機器設定 1 または 外部機器設定 2 を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、「AUX1」または「AUX2」を選ぶ

3 外部機器を設定する

AUX1

ロータリーコマンドを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

AUDIO
↓
VIDEO
↓
OFF
↓
AUDIO に戻る

AUX2

ロータリーコマンドを押す

押すごとに、ONとOFFが切り換わります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



メモ

- AUX1は、初期設定が「AUDIO」になっています。AUX1を使用しない場合は、「OFF」にします。
- 外部機器の名称は、変更できます。接続した機器に合わせて名称を変更すると便利です。外部機器の名称を変更するには (**☞** 便利な機能 ⑤ 136 ページ)
- シガーライターからポータブルプレーヤーの充電を行いながらAUX入力で音楽を聞くと、ノイズが出る場合があります。その場合は、シガーライターからの充電をおやめください。
- 付属のAUXケーブルとRCA端子の変換ケーブルを使用して、AV機器をAUX入力端子に接続することもできます。ただし、ケーブルの種類によっては、赤（音声・右）と黄色（映像）の端子を逆に接続しないと、映像と音声が入力できない場合があります。

映像入力を設定する

ビデオやDVDプレーヤー、バックカメラなどの外部機器を本機の映像入力に接続した場合、機器にあった設定に切り換えます。



設定の内容

OFF :

映像入力に何も接続しない場合、この設定にします。

TV :

テレビを接続した場合、この設定にします。(ソースを「TV」にしたときに、テレビの映像を見ることができます。)

DVD :

DVDプレーヤーを接続した場合、この設定にします。(ソースを「S-DVD」にしたときに、DVDプレーヤーの映像を見ることができます。)

EXT-V :

別売の映像再生能力のあるエクスターナルユニットを接続した場合、この設定にします。(ソースを「EXTERNAL」にしたときに、エクスターナルユニットの映像を見ることができます。)

AUX :

ビデオ機器を接続した場合、この設定にします。(ソースを「AUX2」にしたときに、ビデオ機器の映像を見ることができます。)

CAMERA :

別売のバックカメラ(例:「ND-BC3」)を接続した場合、この設定にします。車のシフトレバーをR(リバース)の位置にしたとき、バックカメラの映像をモニターに映します。



メモ

- 接続していないソースの設定には、切り換わりません。
- AUX2(外部機器)の設定(※ 初期設定 ④ 126ページ)をONにしないと、「AUX」には、切り換わりません。
- 市販のバックカメラを使用する場合は、鏡像タイプをおすすめします。
- 本機にAVX-P7(別売)を接続する場合、別売のバックカメラは、AVX-P7に接続してください。その場合の接続設定は、AVX-P7の取扱説明書を参照してください。本機の映像入力設定を「CAMERA」にする必要はありません。



1 初期設定メニューを表示する

(※ 初期設定 ① 124ページ)



2 映像入力設定を選ぶ

ロータリーコマンドナーを回して、「VIDEO IN」を選ぶ



3 映像入力を設定する

ロータリーコマンドナーを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

OFF
↓
TV
↓
DVD
↓
EXT-V
↓
AUX
↓
CAMERA
↓
OFFに戻る



4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



メモ

- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR(リバース)にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。(※ 初期設定 ⑥)

バックカメラ極性を設定する

バックカメラ極性設定

車種によって、車のシフトレバーをR（リバース）にしたときの電圧が異なります。車のシフトレバーがR（リバース）の位置でバックカメラの映像が正しく表示されるように設定します。



ご注意

- 映像入力設定（VIDEO IN）で「CAMERA」を選んでいないと、バックカメラ極性設定には切り換わりません。



設定の内容

BATTERY :

極性が+（プラス）になる場合、この設定にします。

GROUND :

極性が-（マイナス）になる場合、この設定にします。



メモ

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）にいても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。
- 本機にAVX-P7（別売）を接続する場合、別売のバックカメラは、AVX-P7に接続してください。その場合の接続設定は、AVX-P7の取扱説明書を参照してください。本機のバックカメラ極性設定を行う必要はありません。

1 映像入力設定で「CAMERA」を選ぶ

(初期設定 ⑥)

2 バックカメラ極性設定を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、「CAMERA」を選ぶ

3 バックカメラ極性を設定する

ロータリーコマンドを押す

押すごとに、「BATTERY」と「GROUND」が切り換わります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

初期設定

7

リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力設定

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

- ① フルレンジスピーカーを接続するとき：
REAR SP :FULL に設定してください
- ② サブウーファーを接続するとき：
REAR SP :SUB W に設定してください

リアスピーカー出力の設定を「REAR SP: SUB W」に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。



ご注意

- リアスピーカー出力設定は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときは操作できません。

1

初期設定メニューを表示する

(初期設定 ① 124 ページ)

2

リアスピーカー出力設定を選ぶ

ロータリーコマンドーを回して、「REAR SP」を選ぶ

3

リアの出力方法を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

押すごとに、「FULL」と「SUB W」が切り換わります。

4

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

初期設定

8

RCA外部出力から出力される信号を選ぶ

RCA出力設定

本機のRCA外部出力端子に外部アンプを接続して、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA外部出力端子から出力される信号を選びます。

- ① サブウーファーを接続したとき：
PREOUT :SUB W に設定してください
- ② フルレンジスピーカーを接続したとき：
PREOUT :REAR に設定してください



ご注意

- リアスピーカー出力設定 (初期設定 ⑦) でリアスピーカー出力を「REAR SP:SUB W」に設定したときは、RCA外部出力の設定はできません。

1

リアスピーカー出力設定を「FULL」にする

(初期設定 ⑦)

2

RCAの出力方法を切り換える

ロータリーコマンドーを左右に操作する

SUB W : 左に操作する
REAR : 右に操作する

3

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

スクロールの設定を切り換える

連続スクロール

連続スクロール設定をONにすると、ディスクのタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能をOFFにします。

1 初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ① 124 ページ)

2 連続スクロール設定を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、「EVERSCROLL」を選ぶ

3 連続スクロール設定をONにする

ロータリーコマンドを押す
もう一度押すと、OFFになります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの調節による音の歪みを抑制することができます。



ご注意

- D.ATT (デジタルアッテネーター設定) は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

1 初期設定メニューを表示する

( 初期設定 ① 124 ページ)

2 デジタルアッテネーター設定を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、「D.ATT」を選ぶ

3 デジタルアッテネーターを設定する

ロータリーコマンドを押す
押すごとに、「HIGH」と「LOW」が切り換わります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



設定の内容

- イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が、歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、「LOW」に切り換えてください。(通常は音質が優れている「HIGH」のままお使いください。)

オーディオ設定をリセットする

オーディオ設定リセット

オーディオ設定を出荷時の状態に戻すことができます。



ご注意

- AUDIO RESET（オーディオ設定リセット）は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。



リセットされる設定について

- すべてのオーディオ設定がリセットされるわけではありません。リセットされない設定は次のとおりです。
 - ・ボリューム
 - ・リスニングポジション
 - ・音量バランス調節
 - ・SLA
 - ・ダイナミックレンジコントロール
 - ・ダイレクト
 - ・ダウンミックス

1

初期設定メニューを表示する

(初期設定 ① 124 ページ)

2

オーディオ設定リセットを選ぶ

ロータリーコマンドを回して、「AUDIO RESET」を選ぶ

3

リセットを選ぶ

ロータリーコマンドを押す

確認のため「OK」と表示されます。

オーディオ設定をリセットしないときは、BAND ボタンを押します。

4

リセットの確認をする

ロータリーコマンドを右に操作する

再度確認のため「REALLY?」と表示されます。

オーディオ設定をリセットしないときは、BAND ボタンを押します。

5

リセットする

ロータリーコマンドを押す

「COMPLETE」と表示され、リセットが完了します。

6

初期設定メニューを解除する

BAND ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

便利な機能

1

瞬時に音量を消す／小さくする

ミュート/アッテネート

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に消音（ミュート）できます。

1

瞬時に消音する

MUTE ボタンを押す

もう一度押すと、ミュートが解除されます。



知っている则便利

- リモコンの (ATT) ボタンを押すと、瞬時に音量を小さく（約 1/10）できます。もう一度押すと、アッテネーターが解除されます。



メモ

- ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。
- 別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「[DEQ-P9]」を接続しているときは、MUTE ボタンは使用できません。

便利な機能

2

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON のとき、または電源が OFF のときに表示されます。

1

時計を表示する

TI ボタンを長く押す

もう一度長く押すと、時計表示が解除されます。




メモ

- 時計を合わせるには (E3) 初期設定 ② 125 ページ)

よく使う機能を 直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンでの操作 **DVH**

リモコンの  ボタンは、よく使う機能を直接操作できます。

内蔵 DVD / マルチ CD / USB / iPod / DVD のとき

1 リモコンの ボタンを 押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、再生が始まります。

ラジオのとき

1 リモコンの ボタンを長く 押す

BSM が始まります

BSM動作中に、もう一度押すと、BSMを解除します。

テレビのとき

1 リモコンの ボタンを長く 押す

BSSM が始まります

BSSM動作中に、もう一度押すと、BSSMを解除します。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源OFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

1 TI ボタンを押す

交通情報を受信する

もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 交通情報の周波数を選ぶ

ロータリーコマンドナーを左右に操作する

交通情報の周波数を選ぶ

1 629 kHz を選ぶとき：右に操作する

1 620 kHz を選ぶとき：左に操作する



知っていると便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

便利な機能

5

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) 名称入力

外部機器 (AUX1、AUX2) の名称を本機に入力して、ディスプレイに表示させることができます。

たとえば、VTR を外部機器として本機に接続した場合は、初期状態で表示される「AUX1」または「AUX2」を「VTR」に変更して表示できます。

1 ソースを AUX1 または AUX2 にする

SOURCE ボタンを押す

2 ロータリーコマンダーを押す

メインメニューが表示されます

3 タイトル入力にする

ロータリーコマンダーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンダーを押す

「TITLE INPUT」と表示されます。

4 AUX (外部機器) の名称を入力して登録する

内蔵 DVD のタイトル入力の手順 3 以降を参照し、同様の操作で AUX (外部機器) の名称を入力する
(内蔵 DVD 51 ページ)



メモ

- 外部機器の名称は、10 文字まで入力できます。

便利な機能

6

ナビゲーションの音声を本機で再生する

デジタル/アナログ切り換え

パイオニア製のナビゲーションユニットと 5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P9」) を光ケーブルで接続して本機と組み合わせると、ナビゲーションユニットで選択したソースの音声を、AUX2 (外部機器 2) として車両のスピーカーから出力することができます。



設定の内容

- ナビゲーションユニットの内蔵 DVD を選択しているときは、本機の AUX2 (外部機器 2) のモードはデジタルにしてください。ナビゲーションユニットのテレビやミュージックサーバーを選択したとき、または本機にナビゲーションユニットを接続しないときは、AUX2 (外部機器 2) のモードはアナログに設定してください。



ご注意

- この機能は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

1 ソースを AUX2 にする

SOURCE ボタンを押す

2 デジタル/アナログを切り換える

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、「DIGITAL」と「ANALOG」が切り換わります。



エクスターナルとは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品（将来発売されるパイオニア製品など）を接続できます。ただしエクスターナルでは、操作できる機能が限られる場合があります。本機には、2 台のエクスターナル製品を接続できます。この場合、エクスターナル1とエクスターナル2が自動で設定されます。



ご注意

- ここでは、エクスターナルユニットの基本的な操作方法だけ説明しています。機能は、接続するエクスターナルユニットによって異なります。機能について詳しくは、エクスターナルユニットの取扱説明書をご覧ください。

ソースとしてエクスターナルユニットを選ぶ

SOURCE ボタンを押して、EXTERNAL を選ぶ

ふだんの操作

BAND を押す

BAND を長く押す

ロータリーコマンドを左右に操作する

ロータリーコマンドを左右に長く操作する

ロータリーコマンドを上下に操作する

1 ~ 6 キーに割り当てられた機能を使う

1

リモコンの① ~ ⑥ ボタンを押す

ファンクションメニューの切り換えかた

1

ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2

ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドを押す

3

ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります

ファンクション1 ↔ ファンクション2 ↔
ファンクション3 ↔ ファンクション4 ↔
オート / マニュアル



メモ

- リモコンの(2/2) ボタンを押すことでも、ファンクション1をON / OFF することができます。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND ボタンを押します。

再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面やパッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

DVDビデオ



ビデオCD



CD



ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DVDに表示されているマークの意味

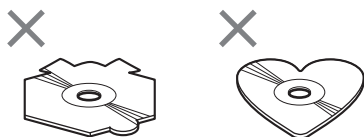
DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。



メモ

- リージョン番号が異なるDVDビデオディスクは、再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応しています。ただし、ファイナライズされていないディスクの再生には対応していません。再生する際は、必ずファイナライズしてください。
- ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R DL（デュアルレイヤー）ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。
- ファイナライズされたDVD-R DL（デュアルレイヤー）ディスクは、録画・編集ができません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）およびビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- DVD-ROM、DVD-RAMディスクの再生には対応していません。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意事項書を十分お読みください。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

次のページへ続く

ハイビジョン画質 (AVCHD規格) で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に關しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

WMA ファイル



ご注意

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。**
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - ディスクの場合：
 - － 8 kHz ～ 48 kHz
 - USB機器の場合：
 - － 32 kHz ～ 48 kHz
- 一般的にWMAファイルは、ビットレート(※) **その他 ⑪ 156ページ**が高いほど音質は良くなります。本機は、以下のWMAファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたWMAファイルの使用をおすすめします。
 - ディスクの場合：
 - － 5 kbps～320kbps (CBR、VBR)
 - USB機器の場合：
 - － 48 kbps～320 kbps (CBR)
 - － 48 kbps～384 kbps (VBR)
- デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。全てのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。

- この製品は、下記の形式には対応していません。

- Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
- Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
- Windows Media Audio 9 Voice

MP3 ファイル



ご注意

- MP3 ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。**
- ID3 Tag (☞ **その他 ⑩ 157ページ**) のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。以下のバージョンのID3 Tagに対応しています。
ディスクの場合：
 - 1.0、1.1、2.2、2.3**USB機器の場合：**
 - 1.0、1.1、2.2、2.3、2.4
- 再生可能なMP3ファイルのサンプリング周波数は以下のとおりです。
ディスクの場合：
 - 8 kHz ~ 48 kHz (エンファシス対応)**USB機器の場合：**
 - 16 kHz ~ 48 kHz (32 kHz ~ 48 kHzのみエンファシス対応)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート (☞ **その他 ⑩ 156ページ**) が高いほど音質は良くなります。本機は、以下のMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルの使用をおすすめします。
 - 8 kbps ~ 320 kbps (CBR、VBR)

AAC ファイル



ご注意

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルをAACファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。**
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
ディスクの場合：
 - 8 kHz ~ 48 kHz**USB機器の場合：**
 - 11.025 kHz ~ 48 kHz
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下のAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたAACファイルの使用をおすすめします。VBR (可変ビットレート) で記録されたAACファイルは再生できません。
ディスクの場合：
 - 8 kbps ~ 320 kbps**USB機器の場合：**
 - 16 kbps ~ 320 kbps
- iTunesミュージックストアで購入された楽曲 (.m4p) は、ディスクやUSB機器に記録して再生することはできません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Apple ロスレス・エンコーダ

WAV ファイル (USB 機器のみ対応)



ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けないでください。**
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 再生可能な WAV ファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - － 16 kHz ～ 48 kHz (LPCM 形式)
 - － 22.05 kHz ～ 44.1 kHz (MS ADPCM 形式)
- 一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数 (※ **その他 ⑩ 157 ページ**) が大きいほど音質は良くなります。本機は、以下の WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きい量子化ビット数で記録された WAV ファイルの使用をおすすめします。
 - － 8 bit ～ 16 bit (LPCM)
 - － 4 bit (MS ADPCM)

DivX ファイル (ディスクのみ対応)

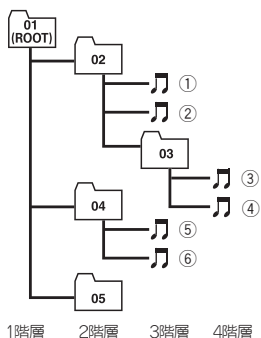


ご注意

- DivX ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.avi または .divx) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.avi または .divx) が付いているファイルを DivX ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、DivX ファイル以外には拡張子 (.avi または .divx) を付けないでください。**
- 本機は、DivX 規格に準拠した、DivX® ビデオフォーマット (コンテンツ) を再生することができません。また、DivX® Ultra には対応していません。
- 映像データが収録されていないファイルは、DivX® ファイルと認識できません。
- DivX® ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- iDivX® のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX® ファイルの再生は保証していません。
- DivX® VOD ファイルのうち、DRM レンタル ファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作できません。
- 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX® ファイルの表示に対応しています。
- 4 GB を超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。
- DivX® VOD ファイルを再生する場合、その DivX® VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。登録コードは「DivX VOD の登録コードを確認する (※ **DVD 設定 ⑨ 122 ページ**)」で確認してください。
- DivX® について詳しくは、<http://www.divx.com/> を参照してください。

フォルダーと圧縮ファイルについて

- WMA / MP3 / AAC ファイルを収録した CD-R / CD-RW / CD-ROM のイメージは下図のようになります。



- 本機は WMA / MP3 / AAC ファイルが記録された DVD-R / DVD-RW / CD-R / CD-RW / CD-ROM の再生に対応しています。ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。**(※ その他 ① 158 ページ)**
- 本機はマルチセッション **(※ その他 ① 156 ページ)** 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト **(※ その他 ① 156 ページ)** には対応していません。
- m3u **(※ その他 ① 158 ページ)** のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma, .mp3, .m4a) を含めて半角で 64 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で 64 文字までです。(全角文字表示に対応している製品では、半角で 64 文字、全角で 32 文字まで表示できます。)

- 拡張フォーマット (Romeo) **(※ その他 ① 158 ページ)** に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から 64 文字までの表示に対応しています。(全角文字表示に対応している製品では、半角で 64 文字、全角で 32 文字まで表示できます。)
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがない CD を、WMA / MP3 / AAC ファイルとして DVD-R / DVD-RW / CD-R / CD-RW / CD-ROM に記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てすることはできません。
- ディスクに、WMA / MP3 / AAC ファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA / MP3 / AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。**(※ ここだけで ② 29 ページ)** WMA / MP3 / AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号を表示せず、スキップします。)
- 8階層までの WMA / MP3 / AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が 255 個まで再生可能です。

使用できる USB 機器について

以下の条件を満たす USB 機器が使用できます。

- 規格：USB 2.0、1.1、1.0
- データ転送速度：Full Speed
- USB クラス：MSC (Mass Storage Class) デバイス
- プロトコル：バルク
- 最大メモリー容量：250 GB
- 最小メモリー容量：250 MB
- ファイルシステム：FAT 32、FAT 16
- 最大供給電流：500 mA



ご注意

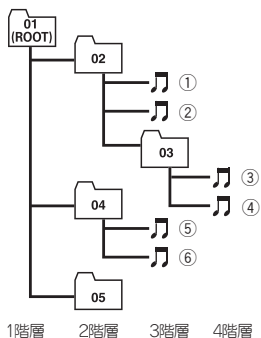
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは使用できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB 機器は、本機のケーブルに直接接続してください。USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

対応している圧縮オーディオファイルについて

- USB 機器に収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。
- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 500 フォルダーです。
- 8階層までの WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの再生に対応しています。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma、.mp3、.m4a、.wav) を含めて半角で 64 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で 64 文字までです。(全角文字表示に対応している製品では、半角で 64 文字、全角で 32 文字まで表示できます。) ただし、文字コードの種類によって、最大表示文字数は半角で 32 文字になる場合があります。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

USB メモリー内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01～05はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。

- ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
- ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
- ③ フォルダー単位でUSB メモリーにコピーする。
ただし、パソコンの環境によってはこの方法で指定できない場合もあります。



ご注意

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPodの取り扱いについて詳しくは、iPodの説明書をお読みください。

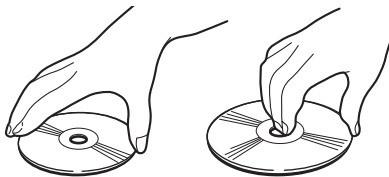
iPodの設定について

- 本機からiPodのイコライザは操作できません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをおすすめします。
- iPodを本機に接続している場合、iPodのリピートは「オフ」に設定できません。また、iPodのリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

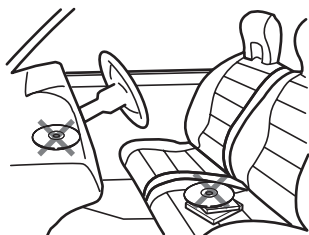


- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。



メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入力コード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入力コード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
シモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記は ISO639:1988 (E/F) に準拠 (1999年9月現在)

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ はじめに ⑥ 17ページ)

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(☞ その他 ⑩ 155ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと同交換してください。(☞ 取付説明書)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。(☞ はじめに ⑤ 16ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。(☞ はじめに ⑤ 16ページ)
	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
ディスクを再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。(☞ その他 ⑥ 146ページ)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。(☞ ここだけで ① 26ページ)
	ミュートがONになっている。	ミュートを解除してください。(☞ 便利な機能 ① 134ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。(☞ 便利な機能 ① 134ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(☞ 音の調節 ② 87ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
	前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(☞ 音の調節 ② 87ページ)
☒ (禁止マーク) が画面が出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。

共通項目

症状	原因	処置
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの(■) ボタンを押してからもう、一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
画面がのびる。アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。 (※ 取付説明書)
	バックカメラの設定が間違っている。	正しく設定してください。 (※ 初期設定 ⑤ 128 ページ、⑥ 129 ページ)

内蔵 DVD : DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (※ DVD 設定 ⑨ 121 ページ)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 (※ DVD 設定 ⑧ 121 ページ)
	暗証番号を忘れてしまった。	◎ ボタンを 10 回押して、暗証番号を解除してください。 (※ DVD 設定 ⑧ 121 ページ)
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていない DVD を再生している。	字幕が収録されていない DVD では、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	DVD の設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	DVD の設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えることができません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

内蔵DVD：DVD（つづき）

症状	原因	処置
ディスクの再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

内蔵DVD：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBC機能の付いていないビデオCDを再生している。	PBC機能の付いていないビデオCDでは操作できません。
リピート再生、トラックサーチができない。	PBC機能付きのビデオCDを再生している。	PBC機能付きビデオCDを再生しているときは、操作できません。

内蔵DVD：CD、WMA／MP3／AAC

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。CDを再生できない。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ⑥ 146 ページ)
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ⑥ 146 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (<small>☞</small> ここだけで ② 28 ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (<small>☞</small> ここだけで ③ 30 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (<small>☞</small> ここだけで ③ 30 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (<small>☞</small> ここだけで ③ 30 ページ)

「DEQ-P9」接続時

症状	原因	処置
スピーカーの調節ができない。	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (別売 DSP ⑮ 107 ページ)
タイムアライメントを調節できない。	リスニングポジションの設定が間違っている。	リスニングポジションを正しく設定してください。 (別売 DSP ④ 97 ページ)
	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (別売 DSP ⑮ 107 ページ)
サブウーファーの位相が切り換えられない。	サブウーファーの設定がOFFになっている。	サブウーファーの設定をONにしてください。 (別売 DSP ⑮ 107 ページ)
低音域が聞こえない。	サブウーファーの設定がOFFで、それ以外のスピーカーのサイズ設定がOFFやSMALLになっている。	正しく設定してください。(サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーのサイズ設定は、LARGEにしてください。) (別売 DSP ⑮ 107 ページ)
ドルビープロロジックIIをONにすると、音が出ないときがある。	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズ設定をSMALLやLARGEにしている。	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックIIをONにすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。)(別売 DSP ⑮ 107 ページ)
センタースピーカー以外のスピーカーから音が出ないときがある。	ドルビープロロジックIIがONになっている。	ドルビープロロジックIIをOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックIIをONにすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。) (別売 DSP ⑮ 98 ページ)
ダイナミックレンジコントロールをONにしても効果がない。	再生しているソースがドルビーデジタル音声でない。	ドルビーデジタル音声にだけ有効な機能です。(別売 DSP ⑨ 101 ページ)
DVDの音だけ出ない。	光デジタルケーブルが外れている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。(取付説明書)
光デジタル入力1または光デジタル入力2に接続したソースの音が出ない。	光デジタル入力1 (OPT. IN1) と光デジタル入力2 (OPT. IN2) が逆に接続されている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。(取付説明書)
	光デジタル入力に接続した製品のソースが光デジタル信号に対応していない。	光デジタルに対応した製品かどうか確認してください。 (「DEQ-P9」の「取扱説明書」)

こんなメッセージが表示されたら

内蔵 DVD のエラーメッセージ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR 02-XX」	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。 (※ その他 ⑥ 146 ページ)
	ディスクにキズやひびがある。	ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
「HEAT」、 「THERMAL PROTECTION IN MOTION」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「NON-PLAY」 「NON-PLAYABLE DISC」	本機では再生できないディスク (DVD AUDIO など) を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。
「REGION ERROR」 「DIFFERENT REGION DISC」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。
「PROTECT」 「PROTECTED DISC」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	ディスクを交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。



メモ

- マルチ CD 再生中に、上記以外エラーメッセージが表示されたときは、マルチ CD の取扱説明書をご覧ください。

オートイコライジングのエラーメッセージ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR MIC」	マイクが接続されていない。	音響特性測定用マイクをきちんと差し込んでください。 (※ 別売 DSP ⑭ 105 ページ)
「ERROR FRONT SP」 「ERROR FRONT-L SP」 「ERROR FRONT-R SP」 「ERROR CENTER SP」 「ERROR REAR SP」 「ERROR REAR-L SP」 「ERROR REAR-R SP」 「ERROR SUB WOOFER」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。 (※ 取付説明書) 音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。 なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
「ERROR NOISE」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。

USBのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USB コネクタまたはUSB ケーブルがショートした。	USB コネクタ／USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定 (※ その他 ④ 144 ページ) 以上の電流を消費するUSB 機器を接続した。	接続したUSB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFF にしてからON にしてください。次に、対応するUSB 機器を接続してください。
「N/A USB」	接続されたUSB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応のUSB 機器を接続してください。
「NO AUDIO」	何も収録・保存されていないUSB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存されたUSB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きのUSB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
「PROTECT」	USB 機器内のすべてのWMA ファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存したUSB 機器を接続してください。
「SKIPPED」	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されたWMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSB に切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none">●車のエンジンスイッチを一度OFF にしてからON にする。●接続したUSB 機器を一度外してから接続する。●別のソースに切り換える。
「ERROR-23」	接続されたUSB 機器のフォーマットが、FAT32かFAT16のトが、FAT32かFAT16ではない。USB 機器を接続してください。	

次のページへ続く

iPodのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」 「ERROR-A1」	iPodは動作するが、充電されない。	iPod ケーブルがショートしていないか (たとえば、金属物にはさまれていないか) 確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPodを一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPodに問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
「N/A USB」	iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 iPodをリセットしてください。
「ERROR-16」	iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
「NO SONGS」	iPodに曲が入っていない。	iPodに曲を転送してください。
「STOP」	選んだプレイリストに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限 (パレンタルロック)

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビープロロジックII

ドルビープロロジックIIは、2チャンネル信号を5.1チャンネルに拡張できます。CDのような通常のステレオ音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルが必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDやDivXの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDやDivXでは、音声を最大8言語 (8ストリーム) まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDやDivXでは、1枚のディスク (1つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVDでは最大32言語まで、DivXでは最大8言語まで記録でき、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。(本体底面に表記されています。)

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz / 16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の一つです。この数が大きいほど、音質が良くなります。ただし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズも大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

DivX

DivXは、DivX, Inc.が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高音質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードしてDivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified

DivX Certified製品は、DivXのクリエイターによって、すべてのバージョンのDivX (DivX 6も含む)でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示します。

DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

MS ADPCM

「Microsoft Adaptive Differential Pulse Code Modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR (バイビークール)

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VRモード

「Video Recording（ビデオレコーディング）」の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。また、部分消去などの編集もできます。

WMA

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータはWindows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) mm × 50 (H) mm ×

165 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) mm × 46 (H) mm ×

15 (D) mm

質量：

1.4 kg (コード含まず)

■ アンプ／オーディオ部

最大出力：

50 W × 4

50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch /
2 Ω (for サブウーファー)

定格出力：

22 W × 4

(50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω ~ 8 Ω × 4

4 Ω ~ 8 Ω × 2 + 2 Ω × 1

プリアウト最大出力レベル：

2.2 V

イコライザー

(3バンド パラメトリック イコライザー)：

(LOW)

周波数: 40 Hz / 80 Hz / 100 Hz /
160 Hz

Qファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 /
1.15 (+6 dBブースト時)

調整幅: ± 12dB

(MID)

周波数: 200 Hz / 500 Hz / 1 kHz /
2 kHz

Qファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 /
1.15 (+6 dBブースト時)

調整幅: ± 12dB

(HIGH)

周波数: 3.15 kHz / 8 kHz / 10 kHz /
12.5 kHz

Qファクター: 0.35 / 0.59 / 0.95 /
1.15 (+6 dBブースト時)

調整幅: ± 12dB

ハイパスフィルター：

周波数: 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz

スロープ: - 12 dB / oct

サブウーファー出力：

周波数: 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz

スロープ: - 18 dB / oct

調整幅: + 6 dB ~ - 24 dB

位相: NORMAL / REVERSE

バスプースター：

調整幅: + 12 dB ~ 0 dB

■ DVDプレーヤー部

形式：

DVDビデオ、DVD-VR、DivX、ビデオCD、
CD、WMA、MP3、AAC

リージョン番号：

2

使用ディスク：

DVDビデオ、ビデオCD、CD、dts CD、
CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW

S/N比：

97 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
96 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)：CD

チャンネル数：

2 (ステレオ)

DivXデコーディングフォーマット：

Home Theater Ver. 3、4、5.2
(.avi .divx)

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9、10、11
(2 ch audio) (Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC
(Ver. 7.2 以前のiTunes でエンコードさ
れたもののみ)

■ USB部

USB規格：

USB 2.0 Full Speed

最大供給電流：

500 mA

最大メモリー容量：

250 GB

ファイルシステム：

FAT16、FAT32

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9、10、11
(2 ch audio) (Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC
(Ver. 7.2 以前のiTunes でエンコードさ
れたもののみ)

WAVシグナルフォーマット：

Linear-PCM、MS ADPCM

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.0 MHz～90.0 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522 kHz～1 629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品



コードユニット	：1式
ビデオコード	：1
USBケーブル	：1
AUXケーブル	：1
取付ネジ類	：1式
フェイスパネルケース	：1
取扱説明書	：1
取付説明書	：1
リモコン	：1
リチウム電池 (CR2025)	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1
お客様登録のお願い	：1



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコール および  フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内


パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーコール)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス  **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

© パイオニア株式会社 2008

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KMMZX > < 08B0000 > < CRA4134-B/N >